激流

1959～1989

日本ボーイスカウト京都第38団 30年史

叁拾年の軌跡

玄語

目　　次

(PAGE)

1，小川玄諦団顧問のあいさつ …… 1

2，下坂紀一団委員長のあいさつ …… 4

3，西村泰一団育成会長のあいさつ …… 5

4，各隊隊長からの一言 …… 6～7

5，20年のあゆみ「サンパッチワーク」

－20年史復刻版－ …… 9～56

6，'79 ～ '84「あしあと」

－25年史復刻版－ …… 57～88

7，'85 ～ '89　「サンパッチワーク PARTⅡ」 …… 89～109

8，30周年記念式典の次第 …… 110～111

9，「30年の歩み」一覧 …… 112

10，団 組 織 図 …… 113

11，歴代富士スカウトからのメッセージ …… 114～115

12，編 集 後 記 …… 116

30周年を迎え、思うことの1ッ2ッ

団顧問　　小　川　玄　諦

発団３０年、その歩みと、その思い出の一こま、一こまを思うにつけ、もうそんなになるのか早いものだなッと言うのが実感です。

この間における世相の推移は、これまた、まことに目まぐるしい変遷であるといえましょう。スカウティングは、本当に素晴らしいものであるが故にこそ、これが忠実に、教育学者でもなければ、教育者でない私達だけに、その原点に学び、自らも実践し、指導者、被指導者という関係ではなく、同じ道を歩む仲間として育つてきた団であると思つています。

それにつけても、スカウト訓育の原点である班制度は、かつては確かに少年にとつて楽しい集いであり、少年の人格形成の上に大きく影響をもたらしたし、また、団活動の原動力であることは今も変りませんけれども、訓育された班長の指導の下での楽しい班集会でなければならないものが、いつしかクラブ的な活動に化して、今日では、権力の伴のう上下関係になつている感を持たされる。班組織、班精神の実際に運用する難しさと、その指導の困難さが、更に増している事実は、世相から来ている事はいなめない様であるが、しかし、実際は支えたり、ささえられたりと言う形で活動し、みんながみんなを高めるために、絶対的と言つていいものは、スカウト自身が、自ら考え、自ら決定し、自ら行ない、自らの反省評価を行なう事の重要性である筈です。とくに近時の世相にあつては、いよいよその重要性が問はれていると思うと共に、そこに大きく指導性の問題が出て来ていると思う事です。

ベビーブームも過ぎ、少年の減少期にあつて、もろに受けてスカウト運動の論議も高まつていますが、特に、地域社会、団の特殊性、その他の条

件によつてそこに相違はあるものの難しい問題を抱えている今日です。

こんな事に思い馳せていますと、創立以来の、その一こま、一こまを思うにつけ、スカウト仲間、スカウト団家族、同じ道を歩む仲間としての歓びの確認しあえる場として育つて来た団であること、その間にあつてのお世話になつたＤ・Ｍ、育成会の方々の若き日の、またスカウトの思い出のアルバムを懐かしく眺めながら、齢を重ね過ぎ、山野にキャンプに共にしていない自分をもどかしく思うこの頃です。

スカウティングの道を明らかにされ、教え導いていただいた先覚者を偲びつつ、スカウトの自主性と集団性が保証され、然も大人の恣意から守られると言う保証の中にあつての自主性からの活動（班制度）、それが、大人の生活活動と連なり、結合されて、少年の訓育が成り立つと言う原点。このことはスカウト訓育での最重要視される分野でしょうが、３８団の今日の温かい団家族を形成して来れたのもこの原点に忠実であつたからであろうかと思うことです。

特に、この頃の青少年の価値観が多様化して、民主主義社会を基盤とする社会、恵まれた経済社会にあつて、自由と平等と言う名のもとに、親子ともども権利が与えられましたものの、自覚して得た権利ではありませんから、自己愛そのものを満足しようとする放縦にも近いものすら感ぜさせられます。少年の人格が分裂させられている時代とも言はれます今日この頃です。個人の自由を振り回せば、他は平等であり得ないし、平等を主張すれば、個の自由はあり得ない。スカウトとしての自覚、そこから生れて来るものは、＜ちかい＞＜おきて＞に照らされ、育てられたスカウトの自主性からの唯一の独自性の自覚であり、その自覚には、自己中心的な意味もありますが、深く人々との心に触れることなくしては、その自覚は生れて来ないでしょうし、これなくしてのスカウト訓育はありえないと言えましょう。自律的に個として離れて独立し、他の社会性に接して結合すると言う自分自身と取り組む場に於いてこそ、社会的実践が自己を育ててくれ

るのでしょうが、現実は、学力向上のためとは言いながら、塾通いも、競争に勝つ為に強調される自主性であり、外的価値に従う人間形成にあるといつても過言ではないでしょう。人は互いに他をおしのけあいながら生きていますし、楽でないからこそ悩まねばならない。本当はささえられて生きているというその事に気付かないのが人間である。その意味でスカウトもその世相に巻き込まれている事はいなめない感です。スカウティングはスカウトの生き方を大きく方向付けしています。一人一人が、傍観的態度であるならば、そこにはスカウティングはないと言えます。よしそれがどんなに小さくとも自らスカウティングをすれば、幸福をもたらすとはＢ－Ｐの言葉です。３０年の誕生を迎え、一人の人間が生を受けた意義と価値を考え、縁あつてスカウトの道を歩む身として、ひとりひとりの善意によつて、更に足並を揃え、妙高での記念キャンプが、自然に接し、対面し、人間の原始の姿に帰る事によつて人間の持つている力を、生き生きとよみがえさせられるのがキャンプである。その事は人間の集団と言う生命を媒介として可能であり、人間の力強さ、温かさの社会的技術によつて鼓舞されるから、楽しくも、意義ある記念キャンプであるこを念じつつ、育成会の皆々様、スカウター、の長い年月に亙るご奉仕の賜ものによつてささえられ、今日を迎えられました事に意を尽くし得ませんが厚く謝しご挨拶と致します。

弥　　栄

３０周年を迎えて

団委員長　　下坂　紀一

創団３０周年おめでとうございます

３８団の歴史に輝かしい一ページを飾る，記念式典が挙行されることを心よりお慶び申し上げます。　　この３０年を支えてくださった，小川先生ご夫妻をはじめ，その時々の　育成会・団委員会・指導者・関係各位に，心よりお慶びと感謝を申し上げます。

我が３８団は，大谷大学スカウト団の団号を継承し，今日まで，３０年の道のりを歩んでまいりました。　　その間の，関係各位におかれましては大変なご苦労の連続であったこととご推察いたします。

その，ご苦労の甲斐があってスカウトが育ち，今では社会の中堅となり活躍され，そのスカウトの二世がいま，　カブ隊．シニァ隊に在籍するという，サンバチならではの家族的，開放的な団が，育ってまいりましたまた。

又　サンバチにおいては，スカウト訓育が常に一貫して成し遂げられているのは，小川先生の基でご指導を受けたスカウトたちが今，指導者としてまた団委員として，ご奉仕をいただいているお陰であり，団の活動と運営に対して，大きな支えとなって年輪を重ねてまいりました。

しかしながら　青少年の育成に対して学歴社会が増長され，少年が少年らしからぬ方向へと社会が流されています。

将来の世代を担う，青少年の育成には　『人と人とのつながり，自然との出会，責任感，自立，礼節』等が基本的に求められるが，これらはボーイスカウト訓育の中でこそ，得ることが出来ると確信し，今後　ボーイスカウト運動が益々発展することを願うってやまないものです。

青少年の育成は，大人の責務と認識しながら，今後供　３８団の発展のために関係各位の　ご指導，ご鞭撻を賜りますことをお願い申しあげましてお祝の言葉とさせて戴きます。

『ごあいさつ』

団育成会長　西村　泰一

京都３８団の３０周年を心よりお祝い申し上げます。

人生の流れ、家の流れは３０年をサイクルとして新しく生まれ変わって行きます。

当団もすでにスカウトの二世たちが親の歩まれた道を進んでおられます事は素晴らしいこととお慶びいたします。

今日、青少年問題として政治的に、教育面、家庭面が大きな世論となっておりますが、真の教育とは何であるかを各家庭で考えて見られることは大切なことであると思います。

ボーイスカウト活動は単に少年時代のことでなく生涯教育であり、良き社会さらには世界平和を築く一石です。３０年の歴史の中で進学または部活動等のために途中退団者の多くあったことは残念でなりません。

小川玄諦先生は宗教家として、全身全霊でボーイスカウト活動に物心共御奉仕されておられることは心服のかぎりでございます。

そうした中で優秀な、立派な指導者が数多く生まれ、社会で活躍されておられることは、ボーイスカウト活動の３０年の歳月を経てここに実証されました。意義のあることではないでしょうか。

発団以来育成していただいた多くの指導者、団委員、育成会の皆様に感謝すると共に、今後当３８団のますますの弥栄のため御援助賜りますことをお願い申し上げまして、お祝いのことばとさせていただきます。

３０周年を迎えて

ＣＳ隊々長　西　脇　一　博

38団が30周年を迎え、その栄えある歴史を築いて来られた小川先生はじめ数多くの御尽力いただいた皆様に改めて感謝いたします。　私がカブ隊に入隊して15年、やっとサンパチの半分までたどりつきました。現在やっと半分ですが、今後は2/3、3/4とスカウトとしてサンパチの一員として精一杯努力していきたいと思っています。

私は、カブ隊の入隊式に弁当を忘れてしまいました。また、写真によるとどうも同入隊の仲間よりもあまりにもだらしなく、口はあいているし、一人足は開いているし姿勢も良くない。今、考えるとこんな頼りないスカウトには一喝となりましょう。しかし、私が楽天家なのか、物覚えが悪いのか、叱られた思い出がないのです。そう考えるうちに、実はこの15年間叱られたことがないのでは、とまで思えてきます。私の様な不届きな者が叱られないはずがないのに、どうも記憶として蘇って来るのは楽しい思い出ばかりです。おそらくそれは、リーダー、父兄、隊の仲間が大きな素敵な人だったと思われます。いつの時も隊長は何故かでっかくてやさしくなんでもできた私のヒーローであり、憧れでした。私は今、私の中のヒーローが私であること認識しているのと同時にいにしえのヒーロー達の笑顔の裏のつらさをも実感しています。しかし、私が今日までずっと変わらなかったものそれは、「みんないやったら面白くやれる」ということです。それは、年々大きくなり、今は己をヒーローとはおこがましくてとても言えませんがこの面白さみんなに発見させてあげられるスカウトであり続けたいと思います。自分自身もどんどん面白いものを発見していけるでしょう。そしてみんなも。私は確信します。

「サンパチはこれからが面白い」と。

ＢＳ隊々長　服　部　憲　一

30年というと僕が生まれる２倍以上も前のことで、その頃の日本のことなど想像もできない。まして、子供達が何を考えていたとか、どんな遊びをしていたか、など人に聞いてもピンとこない。しかし、その頃の子供達が今よりも考え方がしっかりしていたとか、精一杯生きていたというのは確かだと思う。今のように何もかも便利になって毎日の生活に何一つ不自由することもなく、学校へ行ってクラブへ行って、そして塾へ行くという決められたレールの上を走るのみの世の中では、子供達も無気力になりがちである。そういう中にあって、ＢＳ活動のあり方は過去に対して大きく変わっていないと思う。子供の自主性を高め、個人として、また、社会の一員として成長するのを助けるのが我々リーダーの役割であり、そうすることによって我々もまた成長していく。その結果として我々のすばらしい先輩達があり、今の我々があり、それがまた後輩に受け継がれていくはずだ。

38団の30周年を「もう、30年か」と思わず「まだ30年、この先はもっと長い」と受けとめ、この通過点に過ぎない30年を祝い今の自分がやってこれたことに感謝したい。

ＳＳ隊々長　遠　藤　　亘

38団の30周年を、多くの仲間と迎えられる事を嬉しく思います。　初めてカブスカウトの制服を着てから２年目にシニア隊の隊長として30周年を迎えました。その間多くの先輩から数々の事を教えていただきました。「ちかい」や「おきて」を土台としたスカウティング、技能つらくても楽しいキャンプなど・・・。

それらとは別に終始一貫してリーダーたちが何を伝えたかったのか？自分なりに感じた事を総括すると、38団の根底には暗黙の内に守られているルールがあったように思います。このルールはいつの時代でも守られてきたと思います。それは、どんなに時代が変わろうと「変わる世の中変わらぬ鉄則」があるということです。これらをはずしているといつまでも大人とは認められません。

いま、隊長として少年から大人になりつつあるシニアスカウトに一番伝えたい事です。これらは、教えられるのではなくスカウト一人一人が感じ取っていくものです。そのためには「眼開きて見きわめよ耳そば立てて聴きただせ我らに普段の準備あり」です。いつも心の中に準備が必要です。

社会に出てから学校の勉強よりも重要なものがボーイスカウトにはたくさんあります。今、30周年の時にもう一度スカウティングを考える時ではないでしょうか。

ＲＳ隊々長　鶴　田　茂　一

30周年を迎え、まずは弥栄を！そして、今日のサンパチを築き上げてこられた小川先生および諸先輩方ありがとうございます　さて、私自身も、カブから入隊し、はや20数年になります。思えばスカウト時代、リーダー時代と数々の思い出や体験が社会人となった今、いろいろな面で原動力となり、自分の心の支えとなっています。そう思うと本当に今までスカウト活動を続けてこられてよかった・・・。サンパチの一員としてよき先輩リーダー、ＯＢにかこまれてやってこれた事、自分にとってスカウティングにめぐりあえたことが大変幸せに思います。

今後のスカウト活動に社会人としての立場はなかなか現実に参加できなく納得のいかない事が多いですが、とにかく若手リーダーが少しでもスカウティングを理解し、スカウティングを愛せるよう力になりたい思っています。

本当にこの運動は、途中でやめてしまってはなにもなりません。まずやってみるという事、そしてスカウティングの奥の深さを探求し、常に初心に帰るという事を忘れず日々の実践に努めたいと思います。

また、今後ますますいろいろな意味でスカウト活動がやりにくくなっている情勢ですがサンパチの長い歴史と足跡を大切に皆が一丸となってスカウティングに取り組んでいきたいものです。そして、最後に今回の30周年も一行事にすぎないよう後々続くものとして・・・。あくまでも主体は“スカウト”だということを再認識して、明日のスカウティングに向かって一歩一歩道を歩んでいきたいです。皆様の日々のご奉仕に感謝いたします。

P10～P55は、20周年の記念誌と同じなので、容量制限のため抜いています。
ご覧になりたい方は、1979年20周年「激流」をご覧下さい

’59～’79

ご あ ん な い

これからのページは次のような構成で展開いたします。

20年のあゆみ「サンパッチワーク」 －20年史復刻版－ …… 9～56

’79～’84 「あ し あ と」 －25年史復刻版－ …… 57～88

’85～’89 「サンパッチワーク PARTⅡ」－以後5年－…… 89～109

サンパッチワーク

さんぱち20年のあゆみをふりかえって、思うがまゝに綴ってみた。当時作成した資料等の記録を切り貼りしたので、こんな名前をつけた。何せ古い話でもあるから、あやしげな部分も多々あろうと思う、正確な記録に近づけたいので、真意をご存知の方は、ご一報下されば大変ありがたい。

さんぱち '79～'84 の あゆみ

サンパチ20周年記念行事が昭和54年5月開催されて以来5年の年月が過ぎ さまざまな活動や行事が実施された。
その中にはスカウト、団委員の方々それぞれの心に深く刻まれた"思い出"があると思う。また現在の団運営形態の"いしずえ"となる出来事もあった。これらを前の20周年記念行事誌"激流"の続刊としてまとめてみた。当時作成された資料等を切り貼りしたので読みにくい個所や実施日時の変更があったかもしれない。間違いがあれば御一報下さい。

『編集後記』

サンパチのひとつの特色は、その出版物のユニークさ、豊富さにあると言ってよい。「さんぱち」ひとつをとってみても、百号を超え、それらをふり返るとおもしろい。それはひとえにガリ版の鬼才的存在であった小川先生の影響と、この20年史の印刷所(↙)の、存在が大きい。実際 団の頃の出版物にはすばらしいテクニックが秘められているのに気づく。

さてこの20年史の発行にあたり、ポイントは、

(一) 20年前から現在に至る歴史を語る刊行物として、何とか一貫性のあるものを作る必要があった。

(二) 10周年以前を知らないスカウト・ご父兄がほとんどになってきたため、時事の情報を併設すること。

にあった。そこで当時の古い人間が集り、古い資料をかき集め、「あんときは どうやった」とワイワイ言いながらエピソード集め、「ギャンプのしおり」を整理し、最終的にこの切り張り(パッチワーク)となったのである。

ごらんになって、きっと思い出し笑いをする人、「あの人が〇。」と驚く人、「こんなこともあったのに」と残念がる人、様々であろう。なお表紙はサンパチ20年間の記念誌史として 四周年誌「激流」に始まり、15周年「あしあと」までを載せた。

最後に 20年史の制作にあたり、数々の食料をご提供いただいた 末吉様にこの紙面をかりて、感謝いたします。

おおやぶ記

ボーイスカウト京都第38団　20年史

昭和54年5月5日　発　行

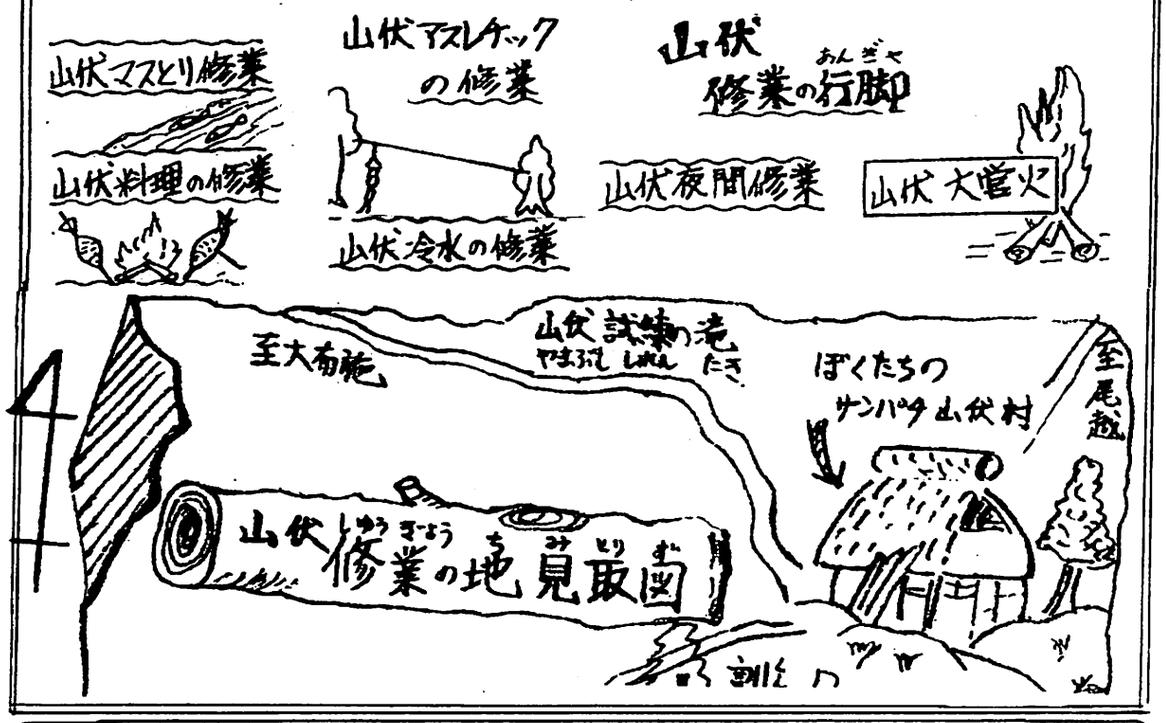
発行者　日本ボーイスカウト京都第38団
編集者　大　薮　俊　一
印刷者　末　吉　央　伯
印刷所　PEOPRINT
団本部　〒602京都市上京区寺町通敬馬口下ル高徳寺町　TEL 231-3695

54年8月8日～8月11日　カブ隊夏季キャンプ

(テーマ)　つかめ"山伏だましい"

(場所)　左京区 大原大見町　奥田宅にて舎営

(スタッフ)
- 隊長　山内哲雄　副長 下坂紀一、中村三之助
- インストラクター　西村浩行
- デンマザー　▽南部洋子　竹村次郎　▽高橋美知代　松本道典　▽隅田泰江　井上孝
- デンケーフ



54年7月26日～8月31日　ボーイ隊夏季キャンプ

(於)　左京区 大原大見町

隊長　服部圭佐　副長 仙波逸夫　{上班 大藪宗爾　隊付 五十嵐達志}

(ワシ班) 小島甫二郎　竹村次郎
(ヤギニ班) 和田浩成　松本龍太郎
(コイ班) 山川裕之　黒宮秀行

54年シニア隊夏季遠征

{隊長 榎本信也　副長 本多直樹}

8月18日 6チーム結団式 ⟹ 8月26日午後3:00 長野県白樺湖ボーアロッヂ集合。

◎ 大藪チーム（ビッチハイク）
8/24～26日
出発時から心細かったが、南インターでの最初のヒッチハイクが成功し、又、色々な人々にやさしくしてもらい大変満足した。

◎ 山川、五十嵐チーム（霧ヶ峰キャンプ場）
8/24～26日　"自然を探る"
雨が降らないだろうと決め込んで雨の時の計画を立てていなかった事である。ツェルトは夜露をよせぐには便利だが雨の時はもってくるし下からは雨がしみてぬれたものではなかった。

◎ 中川チーム（岳の湯温泉）
8/21～26(日)　"アウト・ドア"
今回の遠征で感じたのは「ドイツなどにあるマイスターの修業のように自分で責任のある行動を取りかつ1人前の男になるための旅が必要だ」という事だ。1人で旅する事の楽しさ苦しさを少しでも味わったつもり。

◎ 西村・吹田チーム（八島湿原キャンプ場）
8/24～26日
急に雨が降り出しテントを張るのに苦労した。次の日も雨がやまず活動出来なかった。八島高原に車山の広々と景色の良い事におどろいた。日本にもこんな所があったのかと思った。

◎ 山岡・橘チーム
"土地の人々と接し風俗を知る"
8/23～26日
テントを広げていたらそこへ1人のおじさんがきた。その人は先ほどたずねた民家の人だった。「家へ泊って行くよ」その言葉に甘え家ではごちそうを頂きお風呂まで入れてもらった。……

◎ 中西浩チーム
中津川～白樺湖
大平峠経由 64.3k踏破
8/22～26日
「荷物の軽量化」と「1日のプログラムについての検討」では遠征中かなり余裕をもって行動が出来その結果として予想以上に余暇の時間が出来たのは確かです。ただ「足」については水ぶくれが出来て最終日などは歩くのがかなりめんどうでした。

(以上 シニア54年夏季遠征報告書より抜粋)

54年9月 事務局の発展的解消の決定！

＊＊＊ 京都第38団事務局の発展的解消について＊＊＊　　昭和54年9月28日 決定

サンパチ事務局は今から丁度10年前に誕生した。以来だんぼ～「陽蜂」の発行をはじめとして 団内に親まれている存在となったが、これは本来の目的とする所ではない。目的とするのは、いらなくなるようになることなのだ。つまり、団委員会の役目の大部分を事務局が行なうことを内容にスタートしたのだから。

もう少し説明しよう。　10年前の昭和44年ごろのサンパチは、ようやく団委員会が定期的に ―といっても年に数える程― 開かれるようになっていたが、団会議との区別は明確でなかった。この区別の明確化をはかるため、当時就任された宮西団委員長をはじめとした団委員方の実務を行なう事務局が誕生した。

当時は団委員さんとしてご出席下さるだけで有難かった。これは現在にくらべ熱心でなかったことを意味するのでなく、色々な役務の分担をお願いするような下地が不充分であったからだった。しかしながらスカウトの期待以上に多勢のご父兄のご協力を得、今日の父兄リーダー活躍に至っているサンパチの姿を見ることの喜びを思う時、事務局の存在を考える時でもある。このことは事務局の活動が暫定的活動としてスタートしたことを思い起させる。本年創立20周年を経過した記念すべき時に、本来の団委員会活動を始めなければ明日のサンパチの団運営の安定を望めないと考え　ここに団事務局を解消する好期を発見する。　一ぴー

だんぼ～ 陽蜂19号より　　末吉史伯氏

以上の54年9月28日の新旧合同団会議・団委員会決定により伝統の事務局は解消され現在の団運営組織が確立された。
尽力頂いたつる田氏末吉氏に感謝したい。

OB会の誕生！

OB会の誕生

去る9月24日当団OB会が結成された。　OB該当者130名中現在までの賛同者80余名、当日参加者41名。

だんぼ～ 陽蜂19号より抜粋

◎長休寺本堂の屋根の改修始まる。

◎団会議 団委員会が定例会議化。

団会議（各隊長・副長と団委員長・副団委員長）は毎月第1火曜日（11月6日より実施）
団委員会は毎月第2火曜日（10月9日より実施）　に開催。時刻は19：30～21：30

◎四国ルーム拡張の決定！
これにより四国ルームが38国ルームと同じ広さになり中央ホールが今までより少しせまくなった。

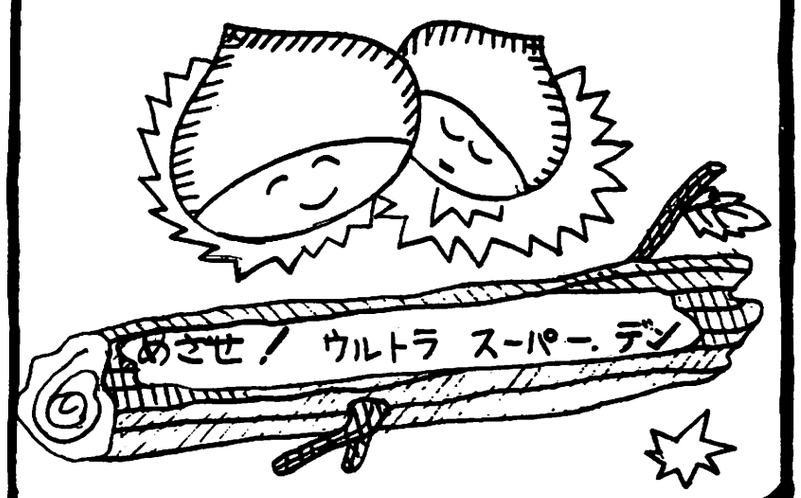
54年10月6日 上進式開催！

55年度リーダー決定する。

CS隊（24名）	隊長	下坂紀一	副長補	山川勝也
	副長	中村三之助	インストラクター	福永裕子
	副長	宮本明	インストラクター	橘真一
	副長	榎本信也	デンマザー	宮谷洋子
	副長	小松耕二	デンマザー	小野佐登美
			デンマザー	西田久江
BS隊（21名）	隊長	山内哲雄	上級班長	山岡隆久
	副長	鶴田茂一	隊付	吹田元路
	副長	古田聡		
SS隊（9名）	隊長	本多直樹		
	副長	山川譲		
RS隊（12名）	隊長	角井輝信	チーフ	掛村清司

第21回京都カブラリーに参加

とき：昭和54年10月14日（日）
ところ：東山　北花山　花山天文台下



▽D.C組織（前田文彦 / 下坂直司 / 南部豊）

▽D.C組織（園田文 / 山内徹也 / 原田達也）

▽D.C組織（服部憲一 / 隅田茂亜 / 西山宗一郎）

54年度報恩講　11月17日

於 長休寺本堂　導師 古田聡　講話 下坂紀一

12月23日　団もちつき大会

- この年始めて38団単独のもちつきとなり午後からは4団が実施。
- 同日 カブ隊入隊式(8名)
  - ▽多内、村田　▽西山太、陽田珠
  - ▽田井中、山口、高橋淳　入矢

(当日時間割)

10:30	全員長休寺裏庭集合 セレモニー
10:45	ＣＳ隊組毎もちつき
11:15	ＢＳ・ＳＳもちつき
12:00	昼食（ぞうに）福引
13:00	ゲーム大会 セレモニー
14:00	終了

★ 55年度 (1980)

カヌーサンハウ号

2月 団ルームの床の改修終わる！

２月末に床をベニヤ板張りにする工事が完成。　費用は３５,０００円。
このあとフエルトカーペットを敷く予定。

3月23日 小川先生 古稀のお祝い！

来たる３月23日で満69歳になられるが、丁度、古稀のお祝いに当たるので、長生をお祈りして団から花束と鯛を贈ることを決め、当日隊集会のあるカブ隊に贈呈をお願いする。喜寿には盛大なお祝いを考えたいので、年間プログラムに組む。（７年先－昭和62年）

団ルームにテーブルが設備される。！

前号の団報で求めたところ、さっそくに２机頂戴出来た。１つは女優野川由美子さん御実家より、もう１つはそれを運搬していただいた際、こんなのならと、団委員の西脇様より頂戴した。有難う御座居ました。大切に使わさせていただきます。

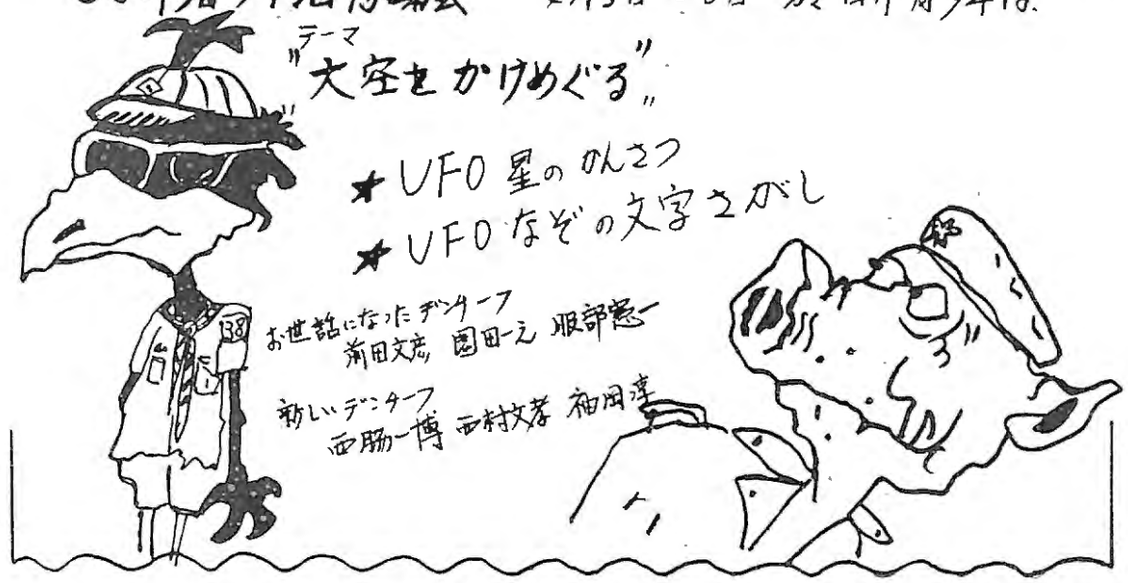
団育成会会計の一本化についての試案がまとまる！

現在各隊毎の育成会のシステムを改めた、単なる父兄会の域を越えた本来あるべき育成会とすべく一本化の目標を次年度におき、活動を開始し会計面についてまず意見を求めることになった。
団財政委員会が２回にわたって開かれ、その報告を了承、今後検当を重ねていくことになった。

陽蜂 第24号より

55年春の1泊隊集会　4月5日～6日　於 白井青少年村

テーマ
"大空をかけめぐる"



★UFO星のかんさつ
★UFOなぞの文字さがし

お世話になったデンケーブ
前田文志　園田一元　服部憲一

新しいデンケーブ
西脇一博　西村文孝　神田達

団ルームがより整備される！

- 団ルーム床のじゅうたん張りを４月19日 14:00 よりＳＳ応援のもと黒宮、西脇、五十嵐各氏担当で。ハウス屋根ペンキ塗りを同20日 08:30 より４団合同、服部、五十嵐各氏担当で作業を依頼した。
- 新たにテーブルを京大教授後藤先生方より頂戴した。
- カーテンを西脇団委員様より取付御寄付戴いた。
- テント用のロッカーを購入しこれをもって今回の整備を終了。

団ルーム整備費収支報告

収入の部	
定額貯金より	８１,６９６円
新年会会計より	１０,０００円
雑収入	４５４円
計	９２,１５０円
支出の部	
保管庫　A	２６,７００円
同　B	２８,０００円
床張り	３５,０００円
合鍵製作費	２,４５０円
計	９２,１５０円

団育成会諸規の原案が作成される

1　団育成会諸規則の制定について。
各委員会で検討作成された草案について協議し、制定すべく案文を公表することを決議した。
諸規則の種類と実施予定期日は次の通り。
○団育成会役員選出規定－昭和55年８月１日。
○団育成会会則。○団及び育成会会計規則。○団会計付則－以上－昭和55年９月１日。

6/19 陽蜂27号より抜粋

55年8月

ローバー隊 リサイクル委員会発足！

欲しい人、あげたい人、集まれ!!
＊スカウト・ユニフォーム、ユニック等のスカウト用品に限ります。
＊期間　7／1～8／31まで。
＊連絡先　RS松原へ。℡ 231-9552
ローバー隊・リサイクル委員会より

1980年 カブ隊夏季キャンプ

(55年)

テーマ

山族

(とき)　8月14日(木) ～ 17日(日) 3泊4日

(山族のやかた) 北桑田郡 京北町下宇津 桜のつぼ

(山族の六ヶ条)
① 山族の衣装を着る
② 朝早くおきて次の行動にすばつする。
③ 元気のよい自分自在にとる。
④ 夜の山道を1人で歩く。
⑤ 山のけわしい道を風のように走りまる。
⑥ 不平や不満はぜったいにきわない。

この6ヶ条をマスターしたらうさぎ(1年目)スカウト
▽多門雅弘 村田真哉
▽西山太佳夫 鶴田珠希 入矢一郎
▽田井中智 山口真也 高橋淳嗣

山菜コンテスト
・山菜料理コンテスト
・山菜おかずのり
・山菜山登り
・山菜のやまつり
・山菜の恵つり

隊長 下坂弘一　副長 宮本明 中村三之助 榎本信也 小松耕二
副長補 山川勝也
インストラクター 橋真一 福永裕子

55年ボーイ隊夏季キャンプ　7/24～7/27 左.大原大野町

テーマ "築こう我等のMy home"

キャンプのしおり から名言二題 → その1

② [このキャンプは大S大会、北山キャンボリーを後にひかえた大事なものである。6月の雨のグリンバー一泊キャンプの教訓を心に刻んで皆んなで力を合わせてがんばろう。」ヤ牛班班長からひとこと より (松ヶ崎)]

その2.

[「野営地の改善、それはどうすればより気持よく、より便利に暮らせるかと改善していく所に深い意味がある。ほめられるためにするのでは本当のキャンパーでもスカウトでもない。何かを工夫しよくする事は本当に楽しい事だ。そして撤営する5分前まで改善を続けるのです。尊いスカウトの心がここで見られるのです。」昨日より今日、今日より明日最後の日まで……　鶴田副長 (キャンプの栞より抜粋)]

隊長 山内哲雄　副長 鶴田茂一、古田聡　上班 山岡隆久　隊付 吹田元路、山川裕之、黒宮秀行、小島扇二郎
B.S一年目スカウト 橋雅史、松永誠史、永田幸司、高橋宏樹、柱一

55年シニア隊夏季遠征　1980. 7/30～8/1 石川県小松市周辺

〈キャンサー班〉 大藪完爾、橋真一、小島扇二郎、黒宮秀行
テーマ "小松市徹底解剖"

前回のキャンプで1人でどれだけのことが出来るのか？ 今回の遠征で複数人でどこまでやれるのか？ …この大きな二つの事を学び今"このシニアでの3年間は最高やった！…と自信を持って言う事ができます。
キャンサー班班長 大藪完爾

〈スコーピオン班〉 五十嵐達志、山岡隆久、吹田元路、山川裕之
今回は班長という事で少しビビっていたが僕としては成功だったので大変まんぞくである。……(中略)…今これからシニア隊に入るみんなも自分達のやりたい事を計画して成功させてほしいと思う。
スコーピオン班班長 五十嵐達志

隊長 本明直樹
副長 山川藤
以後新々シニア隊は屋敷東別院で開催された大石スカウト全国大会に参加した。

大谷スカウト全国大会に36人が参加！

開催期日：　昭和55年8月1日（金）～5日（火）　4泊5日　野営

会　　場：　1. 金沢市安江町　東別院（大S開会式）
　　2. 富山県上新川郡大山町　極楽坂スキー場
　　「第4回ボーイスカウト北信越大会」

38団参加者名簿　　大谷スカウト結成50周年記念

大藪完爾	五十嵐達志	橋　真一	山岡隆久	小島庸二朗
吹田元路	山川裕之	黒宮秀行	本多直樹	山川　譲
竹村次郎	井上　孝	松本竜太郎	福永幹也	小林泰之
松本道典	三田泰弘	園田一之	西脇一博	服部憲一
前田文彦	西村文孝	袖岡　淳	橘　雅史	松永誠史
永田幸司	南　康成	多門弘之	高橋宏樹	桂　一
服部圭佐	山内哲雄	鶴田茂一	古田　聡	河原昌史
末吉史伯				

以上　シニアスカウト8名　ボーイ隊20名　リーダー8名参加

第27回 京都キャンポリー
第8回　北山地区大会
テーマ　『激れ!! 我はスカウト』

――互いに知ろう，北山兄弟スカウト――

開催期間　昭和55年8月23日（土）～25日（月）

開催場所　滋賀県高島郡安曇川町北舟木

滋賀県青少年湖畔レクリエーションセンター

- オリエンテーリング
- スカウト技能大会
  - 暗号ヤッタリレー
  - 救急セクション
  - 命の水セクション
  - 簡易測量セクション
  - 火おこしコーナー
- ハンドクラフト・タイム
- スカウト文教会
- スカウト技能道場
  - 特修章 技能章挑戦コーナー
- 大焚火
- 夜フリータイム

9月6日 上進式が実施される。

カブスカウト隊	ボーイスカウト隊	シニアスカウト隊	ローバースカウト隊
隊長　下坂紀一	隊長　山川　譲	隊長　本多直樹	隊長　大藪俊一
副長　入矢徹雄	副長　河原昌史	副長　鶴田茂一	
〃　榎本信也	(副長補)五十嵐達志		
〃　小松耕二	(上班)山川裕之		
〃　山川勝也			

◎9月27日 育成会年次総会開催　於長休寺本堂

◎11月15日 長休寺スカウト報恩講が行われる。於長休寺本堂.

◎12月21日 55年度 団もちつき大会開く！

団行事ご案内

とき　12がつ 21にち にちようび　ごご2じ～6じ

ところ　ハウス長休，広場，

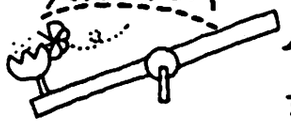
各隊展示、発表，出し物，モギ店、福引，など

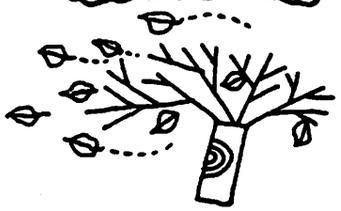
33団・30年の夢大集合

実って苦おう そぉーなんです。

父兄の方へ

当日、ご家族方は
チケット300円（福引つき）
をお買いもとめ下さい。





56年4月 (1981年)

第1回賛助会員募集！

団育成会賛助会員募集の案内用紙出来る！

今号団報に，賛助会員募集の案内用紙を添付します。お一人でも多くの勧誘をお願いします。さらにこの用紙を求めていただくには，財政担当委員，会計，育成会長，団委員長，事務担当まで連絡下さい。正式領収証は後日送付いたす予定ですので，各自仮領収書を発行下さい。

団報33号より

56年度春の一泊隊集会 3/28～29 石井青少年村

カブ隊

テーマ "北山にカブコール"

4くみ 小野晴彦 宮斉和泉 田中校

4ぱ 宮谷基治 木野健治

4ぱ 三宗鶴健治 西田孝一 鶴直人

4月26日「一寸法師ラリー」にローバー隊参加！

松原くん総合優勝おしくもつがす。

於大将軍小。

5月30日～31日 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

ボーイ隊オーバーナイトハイク実施！

コース 奥貴船→花背峠→芦生

『ゲンバッタ1年組』

3ぱ 西脇秀 原田亘 下坂直

3ぱ 南詩男 山内肇 西山貴

4ぱ 石田昌 岡田英

肩にくい込む テントの重さよ

隊長 山川譲 上班 山川裕之

副長 河原昌史 副長補 五十嵐達志

カブ隊隊旗新調される！

授与式 1981年6月14日.

56年 6月21日 カブラリー開催！

○カブ隊22名全員出席 会場 舟岡山

テーマ "西部開拓史"

2組 クリスタル賞に輝く 協賛会会長より表彰

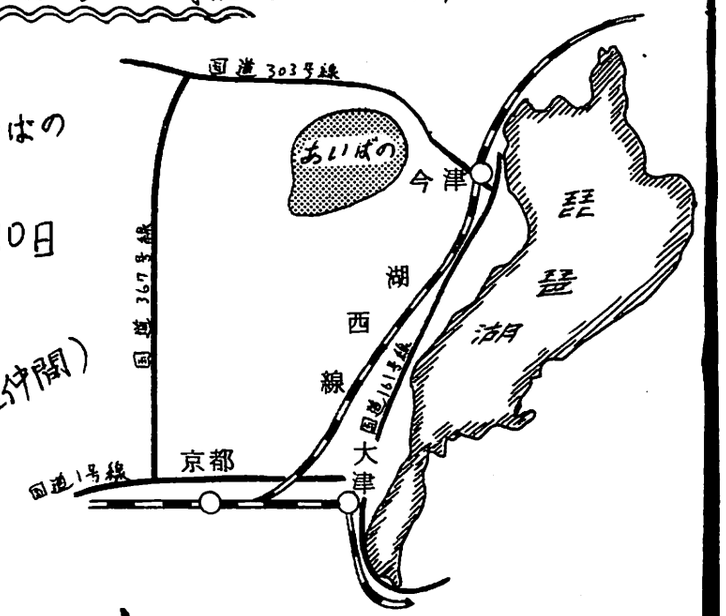
(メイヨの2組スカウト)
- 宮谷基治
- 入平邦
- 木野健治
- 舟河和幸
- 西山大敏
- 黒田亮介
- 岡田英伸

28th 京都キャンポリー開催 1981年

〈会場〉 滋賀県今津町あいばの

昭和56年8月7日～10日

〈テーマ〉 『明日に向かってつなごう9つの輪』 5/テーマ (信頼と仲間)



(グリンバー名)
ワシ 三田義弘 岡田一夫
4ぱ 服部憲一 西脇一博
コイ 西村文孝 前田文彦

BS隊（山川）－8 7～10 滋賀県饗庭野で開かれた京都キャンポリーに参加。初日からの雨のため，プログラムが流れたり，泥の中の設営でスカウトにはかなり厳しいものであったが，よく自主的にやってくれた 他団との交流もでき，また固定キャンプとは違ったスケールの大きさの中から，スカウト自身得るものがあった，と思っている

（陽輝36号より 山川譲隊長報告より）

56年夏季カブキャンプ

三重県志摩郡大王町船越野玉
「京都市奥志摩野外教育センター」

テーマ「ビッグアドベンチャー」

〈ラッキースカウト〉
・南啓二 ・中川雅敏
・奥田敏岡 ・原田完大
・宮谷浩 ・河北孝幸
・朝妻猛

'81 7/30～8/2 BIG ADVENTURE

CS隊（下坂）－7　30～8　2カブキャンプを「奥志摩野外教育センター」にて行なった。台風の連続の為や、当教育センターの規定事項等により、プログラムの一部を変更、または、消化出来ないという残念な事もあったが、スカウト全員出席のもとに意義あるキャンプで終った。また、食事も低料金にくらべ、おいしい献立であった　（陽報36号より下坂C.S隊長報告より）

56年ボーイ隊夏季キャンプ

8/19～8/24

京都府竹野郡網野町浜詰（国鉄丹後木津駅下車40分）

〈テーマ〉
未開拓地
"線ニシ、教育のサンパクたまい"

・航海（サスライ）
・竹炭むいたら
・げんこつ包帯
・海のオレンジエキスプレス
・たんとなくゲーム大会
・海のデンデン太

8/19～24　府下竹野郡浜詰にて夏季キャンプを行う。鶴田SS副長の応援参加を得てリーター9名の強力体制で臨んだ。雨が続いたことや海辺ということもあって、上級スカウトがへばって各班とも設営や炊事で従来とは違った体験を特に上級スカウトは得たと思う。後半ともなれば各班サイトが整理でき工作物も多くなってレベル的にはまだまだだが、スカウトの自主性にまかせて長期野営を終えた点で、今後に期待している　たんぽぽ陽蜂36号　山川譲隊長報告より

シニア隊56年夏季遠征キャンプ

7月26日～8月7日

第3回北海道シニア大会参加

SS隊（本多）－7　26～8　7　第3回北海道シニア大会に参加。道内SSの自主企画の大会でもあったため、プログラム進行面等でかなりの問題があったが、スカウト自身にとっては得るものも多かったと思う。さらに北海道豪雨によって交通が断たれ帰途集結出来なかったこともあったが、それらのアクシデントがかえって印象深さを増した今回の遠征であった。
たんぽぽ陽蜂36号　本多隊長報告より

・ニペソツ山 1泊登山
・タガピラ湖
・新嵐山
・トウヤ湖
・小樽天狗山
・十勝岳
・帯広
・サッポロ
・フルーツパラル
・ナムロ

隊長　本多直樹
スカウト5チーム 12名参加.

9月19日 上進式実施！

上進スカウト 15名

◎カブ隊→ボーイ隊
- 三条場健治　田中茂　橋直人　《野牛班》
- 小野晴彦　宮本和真　《コイ班》
- 木野健史　宮谷基治　西田勝一　《ワシ班》

◎ボーイ隊→シニア隊
- 西脇一博　《スコーピオン》
- 西村文孝　三田泰弘　《キャンサー》
- 服部憲一　園田一之　《レパード》

◎シニア隊→ローバー隊
- 山岡隆久　吹田元路

10月17日 母育成会総会開催！

《各隊指導者》

◎カブ隊　隊長　植本信也　副長　入矢徹雄　小松耕二　奥田純夫　山川勝也　副長補　福永裕子
◎ボーイ隊　隊長　山川譲　副長　服部圭佐　西村浩行　副長補　中西浩　五十嵐道忠　大薮完爾
◎シニア隊　隊長　本多直樹　副長　河原昌史
◎ローバー隊　隊長　大薮俊一　副長　鶴田茂一　中村三之助

56年団もちつき大会実施！ 12月20日

掲示板

〔〔〔〔〔 団 行 事 ご 案 内 〕〕〕〕〕

とき　12がつ 20か にちようび　ごご2じ ～4じ
ところ　長休寺　広場

テーマ　38団 '81 年の瀬大集合
サブテーマ　にゃめんなよ　サンパチ魂

CS隊　コマ回し大会と展示
　　スタンツ・ソング
BS隊　展示，スタンツ・ソング
SS隊　のみの市，モギ店
RS隊　The Nanminyaki，他
育成会　もちつき，福引，モギ店

当日，ご家族方は
チケット500円（フル
コースセット）をお買
いもとめ下さい。
1981.12.20

1982年 カブ隊春の一泊隊集会

57年3月27日～28日
《とこ3》百井青少年村「山の家」

テーマ
"サンパチ少年探偵団"
～いつもスマートネス～

次ページへ ↓

注目！
百井青少年村 すなわち『サンパチ少年探偵団村』には
つぎのような おきてが あるのダ …
諸君！ 探偵として 何としても 守られよ！！
（春の1泊隊集会しおりより抜粋）

隼 RS38 ROVER INFORMATION

2号　1982年 4月 26日（月）発行
担当：吹田・隊長

〈隊集会 議事録〉　4月11日（日）　19:30～21:30 ハウス長休

① 出席者　西村・中西・大薮元・山川・松原・吹田・五十嵐
　大薮隊長・鶴田副長

② ひとことづつ

中西　3月23日から 吉祥寺横の『中西書店』でバイト中。新学期のための教科書の整理と販売準備中。時給550円。4/12は京大の入学式で、来週から販売で忙がしくなる。授業に出ながら続けるつもり。

吹田　きのう(4/10)でガソリンスタンドのバイト終る。4/15から授業開始だけど通学に片道2時間もかかるのでうんざり。4/6普通免許とれた！大学ではフラッシュには入らず，B.S活動に打ち込む。（全員拍手）

西村　先週まで魚屋でバイトしていた。4/13から授業開始。オリエンテーションで1回生のときの成績もらってShock。まだ2回生の実感なし

五十嵐　B.S.隊活動は会議が多く，なんとなくさびしい。活気が欲しいなあ

大薮　五条坂の「ゴーキ美術研究所」できょうから授業開始。人数少なく，at home的である。B.S隊には出来るだけ出たい（全員拍手）
このあ ツリとヒマで一人の時間があったので色んなことを考えていた。同じひとつの人生を生きるなら周囲の人間の良さを喰って自分のカテとできるように生きていきたい。

山川勝　3/27・28 カブ隊一泊隊集会に参加して、バイクで行ったが故障してひさかえしてしまった。

隊長　杉花粉症にかかってもう10年。今年は鼻みず、くしゃみ、鼻づまりでほんとうにしんどい。だから 4/13～18 ハワイに行って来ま～～す。

鶴田副長　4/16より沼西ニュータウン内、スポーツショップ「ヤマカワ」で新しい人生を歩みます。病院は4月末でやめる。ありがとうございました

木村原　とうとう4年になってしまった。単位はOKなので卒業を待つばかり、就職を考える時期に来た。今から大学に入る人は「適当」さが必要と思う。成績は並でええから、何かをやって欲しい

57年5月 ハウス長休設立10周年記念

ハウス10周年記念行事について

5／9各方面の方々をお招きして盛大に開催された。
午後からはＯＬ記念大会を行い当団は好成績を収めた。
（たんぽぽ～陽炎40号より）

式典と行事

日　昭和５７年５月９日
時　午前１０時

行事　午前１１時より

オリエンテリング

◆ 昼食携行，スカウトは制服，その他は運動に適した服装，筆記具，磁石（コンパス）
ＢＳ以上とＣＳとは実施地域は異にします。
御参加をお待ちしています。
閉会式は、団本部　午后８時の予定です。

5月23日 北山カブラリー開催！

於 下鴨神社

▽ 末吉敦同　▽和田晋一郎
青山豊　栄田信之
勅使威部　坂谷有起
▽下坂英世
五井雅士
石原孝史

がんばったラッキースカウト

「東海道53次大作戦」

57年5月16日 シニア隊20周年記念OL大会

於 宝池周辺

38団シニア隊が地区に参加を呼びかけて大OL大会を開催！

〈参加隊〉34団 56団 73団各シニア隊
ガールスカウト26団レンジャー隊

特別参加 河原副長ゲンドリにて未公認1位。

さわかに

7月号 1982.6.20発行

ボーイスカウト京都ろ38団カブ隊

―― カブ・スカウト諸君，

今月7月は、17．"サンパチ・名コック"に挑戦してもらいたい。いつもは、お母さんの作ってくれたものを、あたりまえのように食べているけれど、今回は、作るのは、君たちだ。材料や、作り方や、その他、いろんなことをくふうして、自分たちにしかできないごじまん料理を成功させよう!! それは、名コックとしての第一歩なのダ…

6/6 北山地区B.Sラリーに参加　於宝ヶ池

1) BS隊　6／6宝ヶ池にて行われたBSラリーに参加，OL大会にて，野牛班1位，ワシ班2位，コイ班7位の好成績を収めた。参加32チームの中での価値ある成績おめでとう。

2) BSラリー野牛班1位，ワシ班2位の表彰額縁を購入する事を採択した。

ボーイ隊大活躍！

（いずれも ぼんぽ～陽蜂40号より抜粋）

1982年8月 日本ジャンボリー開催！

8/2～8/7

《シニア隊》
S.S京都第2隊として参加
・松本龍太郎
・松本道典
・服部恵一

《ボーイ隊》
・羽門弘之
・南康成
・松永誠史

57年ボーイ隊 夏季キャンプ (1982年)

7/22～7/27 (とこ3)
滋賀県信楽町黄瀬

＊後半の大雨にて勇気ある撤営

(テーマ) 河川敷 達てよう サンハッ牛狸の里

上班 松本龍太郎

◎ワシ班 {目 袖岡 / 日 橋雅}
◎ヤギュウ {目 南 / 日 松永}
◎コイ {目 羽門 / 日 高橋}

57年カブ隊夏季キャンプ

1982年8月14日(土)～8月17日(火) 3泊4日

キャンプのテーマ　京都府相楽郡笠置町笠置山 笠置山寺

宇宙カブ（うちゅう）

月面大探検
月面大遊泳
宇宙ファイヤー
スペーストレーニング
未知の惑星をさぐる

くまスカウト
▽羽門雅弘
田井中宙司
▽西山太佳夫
鴨田琢弟
入矢一郎
▽山口真也
高橋清嗣

57年シニア隊 夏季遠征

◎レパード班 8/10～8/15
「能登の地に血と汗の結晶を残していこう」

◎キャンサー班
「能登半島 見たり聞いたり調べたり」

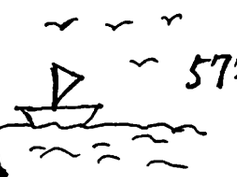
◎スコーピオン班 「能登の地に班の足跡をうちたてよう」

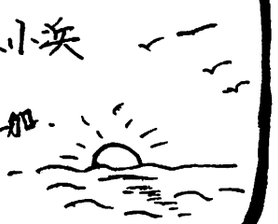
ローバー隊 夏季一泊隊集会

於 福井県小浜

57年8/28～29.

隊長 大藪俊一
副長 鴨田茂一
他 7名参加





57年度育成会総会 10月16日開催！

新期リーダーの承認について

新期リーダーを次の通り選任し当団委員会で承認した。（副長補は隊長選任の上団委員会承認）

ＣＳ隊隊長　山川勝也　副長榎本信也　石原幸一良　福永裕子　副長補井上久美
ＢＳ隊隊長　西村浩行　副長入矢徹雄　五十嵐達志　中西　浩　副長補吹田元路
ＳＳ隊隊長　本多直樹　副長山川　譲　南部忠之　河原昌史
ＲＳ隊隊長　大薮俊一　副長服部圭佐　鶴田茂一　中村三之助　（以上敬称略）

新役員の選出について

団委員長に西村泰一氏を選出し副団委員長に河原幸一氏下坂紀一氏，団会計に高橋美知代氏の指名を承認する。尚顧問に小川先生，育成会長に中川恵造氏，会計監査に園田隆三氏，西山豊太郎氏を選出した。また新団委員による役務は次の通り分担する。（敬称略）

〔財政担当〕宮谷洋子　桂年子　福永由紀子　黒宮富子
〔野行担当〕和田喜与太　青山 亮　原田保夫　田井中正信　小林光子　竹村満子
〔進歩担当〕宮本明　隅田　〔健安担当〕西田久江　西脇香代子
〔組拡担当〕下坂紀一（兼任）　山川孝子　山内哲雄〔指養担当〕末吉央伯　五十嵐美紀子

諸費用の納金方法が銀行振込に！

育成会費及び年間行事費納入について

従来の郵便振替口座に入金する方法を改め銀行振込に変更する件を検討した。この件銀行振込に変更する事で団委員会，団会計に事務手続きを委託する事を採択した。

北山地区シニアラリーに参加！

（シニア隊）松本り　松本ミ　南　井上
服部　西脇　神田

☆奈良県明日香村にて自転車ラリー

1982年（S.57）11月14日

12月19日 57年もちつき団行事開催

《テーマ》年の瀬大集合

〈サブテーマ〉「冬将軍に負けるな ダッシュサンパチ」

団行事プロジェクトメンバーとして，中西ＢＳ副長，南部ＳＳ副長，石原ＣＳ副長，福永ＣＳ副長，服部ＲＳ副長の以上５氏にお世話願う。
出店はおでん，たこやき，おぞうに，うどん，フレンチドッグを予定し，５００円にて食券も販売する。（だんぼ～42号より）

1983年《テーマ》「春風呼ぶ 隊旗なびかせ 進めサンパチ」

ボーイ隊 〈サブテーマ〉春一番

3/20～21 春の一泊ハイク ＊貴出し事件

百井青少年キャンプ場

・ワラ人形 釜ゆすれ事件
・コ隊6人用テントが4人用に変化

58年 4/2～3 カブ隊春の一泊隊集会

テーマ マルトラ トライ マスロン

くまスカウト
▽南啓二、奥田猛司、
▽丹羽雅義、原田竜太、
▽宮谷敬、河北孝年、朝時猛光、

◎バーベル上げ
◎タイヤ引き
◎こえだし運び
◎暗夜行路

58年6月12日
B.Sラリー北山地区大会

左京区東山～宝ケ池周辺

58年6月19日
北山地区カブラリー

テーマ
「イソップ村のカーニバル」2組優秀賞として表彰される ▽川羽雅義 知田吉一郎 原田克人 実田信之 牧谷有志 和久井神 平野和重

'83カブ隊夏季キャンプ

「足柄山の金太郎」 テーマ 7/29～8/1 京都府与謝郡加悦町字与謝
「大江山いこいの広場」

隊長 山川勝也 副長 榎本信也 石原幸一良 福永裕子 副長補 井上久美

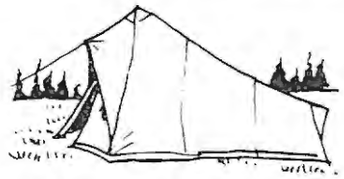
58年ボーイ隊夏季キャンプ

8/3～8/8 京都府竹野郡丹後町小脇

テーマ「宇川の大地に燃え尽きるまで」 サブテーマ「The gate of summer」

隊長 西村浩行 副長 入矢 中西 副長補 吹田 山川裕

'83年シニア隊夏季遠征



SS隊・・・本年の移動キャンプを昨年と同じ形式で実施し，二年目スカウトは横浜39団と同行のアメリカ派遣キャンプ参加を今年の夏季キャンプとする。

《スケルトンズ班》知多半島周辺経由
《シリウス班》大台ヶ原経由
《インパルス班》上高地経由

8/19 名古屋集合

シニア隊アメリカ派遣！

SS隊アメリカ派遣について
当団との友好団である横浜39団が30周年記念行事の一環としてアメリカ遠征を予定されているが，また数名同行出来る余地があり，安い費用と内容のある計画で当団にとって得る所が多いと思われるので募った所，シニア隊の服部君・圓田君・西脇君・西村（文）君・三田君と西村浩行BS隊長の6名が参加する事になった。

カリフォルニア・アラメダ市の新聞の一面を飾ったシニアスカウト

Page 8 ALAMEDA TIMES-STAR, Alameda California Tuesday, August 23, 1983

Japanese Scouts end tour with visit to Alameda

彩 RS38 ROVER INFORMATION

9月号 58年9月28日(水) 発行
担当: M. Hattori

9月隊集会報告

10日(土) Pm 6:00～11日(日) Am 12:15

都市公園(野洲川河口湖岸緑地)にて

◦出席 大藪隊長、山川勝、西村、中西、吹田、山川弟、服部
Pm 10:46から小島 合計8名

◎ 会議に入るまで夕食会 Pm 6:00～9:00
スキヤキで舌づつみ、炊事当番が一切用意してくれると感謝い 結果? 4合のお米を7人で仲良く — 隊長しらける。

◎ 会議 Pm 9:00～Am 12:15

議題
海外出国者帰国報告
隊集会の反省と抱負

1. 報告

(1) 西村君アメリカ見聞記
なんと8/12～27まで16日間です。飛行時間は片道9時間、時差の関係で往路は夜ばかり、復路は昼ばかりでしばらくぼけていた。出発当初はBS隊集会のすぐ後でかぜをひいていて苦しかったが次第に快復した。…以下略…

(2) 中西君中国見聞記
8/17～31までの15日間、中村三之助副長と一緒でした。神戸から船で3時間で天津へ……以下略……

(3) 隊長の西独見聞記 —略—

11月13日 長休寺報恩講開催!

PM 4時開講 長休寺本堂にて
導師 中西浩

「鯨班」誕生!

(名付け親のグリンバー)
コイ 高橋、山内
ワシ 桂 下坂
ヤギュー 松永 石田

BS隊・10月2日グリンバー会議にて58年10月～59年9月までの年間プログラムを作成した。また来期4班編成での新しい班名を「鯨班」と決定した。(だんぼ～ 45号より)

11/19 育成会総会

58年11月19日

総会にて委嘱された団委員の各氏(敬称略)

(顧問) 小川玄諦。(育成会長) 中川恵造。(団委員長) 西村泰一,(同副) 下坂紀一。(団会計) 高橋美知代。(財政担当) 河北, 隅田。(野営・行事担当) 徳岡, 玉井, 青山, 石原, 田井中, 原田, 石田, 松本敬, 奥田。(進歩担当) 宮本, 山口。(健康・安全担当) 丹羽, 西山。(組織・拡張担当) 河合, 黒宮。(指導者養成担当) 五十嵐, 山川。 (以上24名)

12月18日 '83

国もちつき大会(午後)
- のみの市
- ゲーム大会
- 立食いコーナー

上進式(午前)

〈上進者〉
(カブ→ボーイ)
河北孝平 丹羽雅義
奥田猛司
南啓二

(ボーイ→シニア)
高橋忠樹 桂一
松永誠史

(シニア→ローバ)
松本道典 竹村次郎
井上孝 福永幹也
松本龍太郎
小林泰之

(各隊指導者)

カブスカウト隊	ボーイスカウト隊	シニアスカウト隊	ローバースカウト隊
隊長 山川 譲	隊長 南部忠之	隊長 本多直樹	隊長 大藪俊一
副長 山川勝也	副長 西村浩行	副長 河原昌史	副長 鶴田茂一
副長 榎本信也	副長 入矢徹雄	〃 山内哲雄	副長 中村三之助
副長 和田喜与太	副長補 吹田元路		〃 服部圭佐
副長 末吉央伯	〃 山川裕之		
〃 補 石田和美			

なわがに

1月号1984.1.1.発行
BS京都第38団カブスカウト隊

1月のテーマ　道中双六膝栗毛

目標「基本」
（もとになるたいせつなこと）

あけまして　おめでとう　ございます。

新しい年をむかえて、ことしは何をやってみようと考えていますか。先月には、新しい組長・次長もみんなから選ばれ、また新しいなかまも、カブスカウトになりたいと、組に入って活動に参加してきました。そして、きょうは、新しいカブブックをもらって、新しい課目のスタートです。何から何まで、とにかく新しいのですから。

それでは、新しいものだけをすれば良いのでしょうか？これまでのことをいしかげんにして新しいことばかりする人は、できたらそれであとはどうでもよいと考えている人で、やったことが身につかない人です。自分につづく年下のスカウトに、今までのことを教えることができなかったら、もうそれはカブスカウトとはいえないのです。

正月ともなれば、家族で楽しむすごろくゲームのおもしろさは一段、でも室の中にとじこもってないで、外での立体すごろくを計画。

- 道中＝旅のとちゅう　→道を進む
- 双六＝すごろくゲームのこと
- 膝栗毛＝膝を栗毛（茶色の毛）の馬のかわりにする→つまり歩いて旅行する

富士スカウト誕生！

3/13 京大会館にて認証式
松本道典くんおめでとう

— 84 —

'84春の一泊隊集会　3/31～4/1

カブ隊　北桑田郡京北町安威様宅

テーマ　スイッチ・オン（夜）
—新しい灯のともる日—

入隊式を行った。
- 船川幸一郎
- 出原正樹　今井清次
- 菊田学　藤井康正

ボーイ隊 春の一泊隊集会 於ハウス長林

3/24～25

隊長 南部忠之
副隊長 石村治行 大矢健雄

シニア隊 新入スカウト歓迎入隊式

4/14～15　於百井青少年村

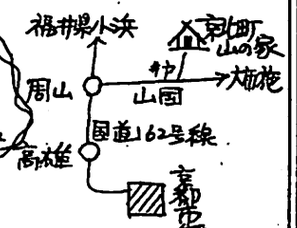
グリーンシニア→シニア
（アルファ班）高橋宏樹　（ベータ班）松永誠史　桂一
・隊長 本間直樹
・副隊長 山内哲雄 河原吉史

団にゅうす

わが京都第38団が誕生して、今年はちょうど25年目にあたります。団全体で記念行事が計画され、団キャンプを行うことになりました。

日　昭和59年5月5日～6日
場所　京北町「山の家」
テーマ　"NICE SCOUTING"
サブテーマ　"25輪いい友"（25/サンパチ＝サンパチぶんのにじゅうごと読む）

どーんなことがおこるかな　それゆけ　イシシシおたのしみ



— 85 —

『編集後記』

20周年記念誌"激流"が刊行されてから5年、各隊ともさまざまな活動が展開されてきた。それらを前刊"激流"の形式と同じに編集した。これは前刊が好評であっただけでなく読み易かった為でもある。しかしいちばんの原因は編集を始めたのが4月半ばであったので時間的な余裕が無かった事である。これには編集者本人が慌てただけでなく(自業自得)直前に原稿をお願いした各隊、育成会の諸氏に多大のご迷惑をおかけしおわび致します。又、何かと御協力いただいた小川先生、末吉様に心から感謝致します。

25周年記念誌発刊の話があった頃にはユニークな編集も考えてはいたのだが……

たとえば (1) スカウト珍プレー特集(キャンプ地におけるエピソード集)
(2) サンパ4 25才の顔(スカウトの写真とひとくち自己紹介)
(3) 俺たちサンパ4族(各隊各班の自由編集ページ)
など〜。

しかし結局は前刊を踏襲する形となってしまった。やはりスカウト仲間がワイ〜言いながら昔を語り編集した方が良かったのではと思う。ともあれ「激流」の30周年誌、35周年誌とサンパ4の歴史とともに積み重なっていく事を心より願います。 J.Y.

——38回 25周年記念行事 実行委員会組織表—

(会長) 小川 玄諦
(副会長) 中川 恵造
(実行委員長) 西村 泰一
(実行副委員長) 下坂 紀一 ＝行事部運営委員長

行事部運営委員

(渉外) 山川 孝子, 五十嵐 美紀子
(輸送) 原田 保夫
(健安) 丹羽 武
(野行) 田中 正信
(財政) 高橋 美知代
(出版) 山内 哲雄

行事部

(部長) 西村 浩行
(副部長) 山川 裕之

〈各プログラム〉

(式典) チーフ 吹田元路, 福永幹也, 小林泰之
(大営火) チーフ 山川勝也, 山川裕之, 松本道典, 松本龍太郎
(メインプログラム) チーフ 中西浩, 竹村次郎, 井上孝
(会計) 中西浩

ボーイスカウト京都第38団25周年記念誌

発　行　　昭和59年5月5日

発行者　　日本ボーイスカウト京都第38団

団本部　　〒602 京都市上京区寺町通鞍馬口下ル
高徳寺町348　℡(075) 231−3695

編集者　　山　内　哲　雄

印刷所　　PEOPRINT

'85 ～ '89

サンパチワーク

PART II

さんぱち30年のあゆみをふりかえるということで20周年誌のサンパッチワーク，25周年誌のあしあとを復刻するとともに，'85～'89の5年分の足跡を加えて，"サンパッチワーク PART II"を発刊しました。これは，過去の記念誌『激流』の集体成であります。30年といえば，やはり長い年月です。したがって，不正確な部分もあるかもしれません。できうる限り正確なものにしたい所存ですので，お気付きの際は，ご一報下されば大変ありがたく思います。

昭和５９年５月～昭和６０年夏

（１９８４年）　　（１９８５年）

ＣＳ	隊長	副長(59年度)	副長(60年度)
	山川(父)	山川(兄)	千種
	(59,60年度)	榎本	河合
		和田	末吉
		末吉	山川(弟)

59年度(しか) ▽末吉.新保.青山 ▽和田.柴田.板谷 ▽下坂.玉井.石原

60年度(しか) ▽西脇.千種.徳岡 ▽河合.平野 ▽河北.宮川.隅村

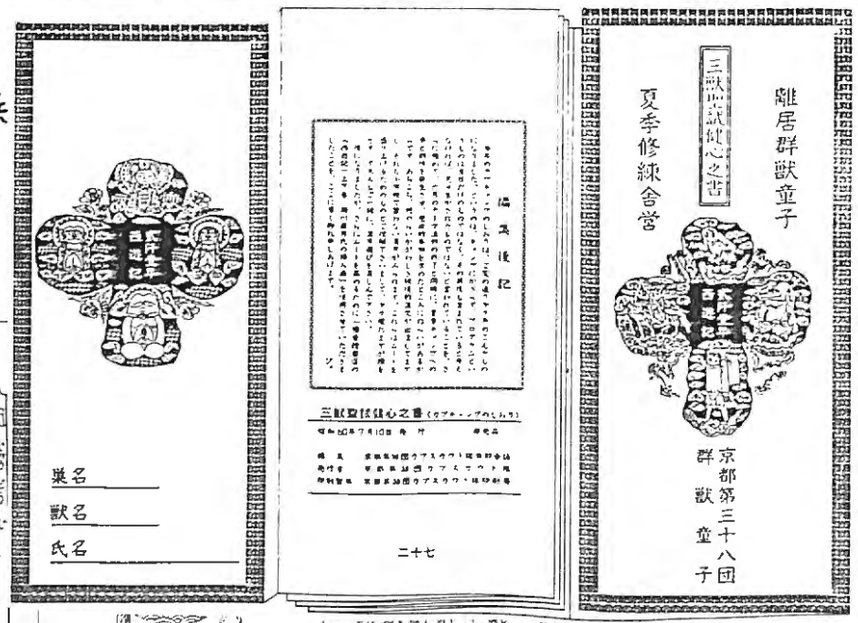
スカウト数
59年度 23名
60年度 15名

59年度　カブキャンプ　S59.8.4～7　京都府綾部市『妙宗寺』

テーマ … "狩り"

1984.6.17.第26回京都カブラリー　第10回北山地区大会（船岡山公園）

60年度カブキャンプ
S60.8.17～20
比良蓬莱山麓蓬莱浜
『弐千壱年西遊記』



三八団
獣童子(カブスカウト)諸君!!

西遊記

三蔵(玄奘)法師―中国の唐の時代のえらい坊さん―が天竺(今のインド)へ行き、お釈迦さまからありがたいお経の本をいただいてかえった旅行のおはなしです。

知ってますか？

離居群獣童子夏季修練合宮
於 滋賀県滋賀郡蓬莱郡
日 昭和六十年 乙丑 睦月
自 十七日 至 二十日
光陸四日泊三日

↖苦心の作のキャンプしおり縮刷版

ＢＳ (59年度)	隊長	副長
	南部	西村(兄)
		入矢

ＢＳ (60年度)	隊長	副長
	五十嵐	西村(兄)
		吹田
		中村

60年度新入隊員
新保.石原
下坂.板谷
青山.柴田
末吉.和田.玉井.

59年度 スカウト数 27名
三 南　ヤギュウ 三 石田 三 西山　ワシ 三 下坂 三 原田　コイ 三 山内 三 西脇　シャチ 三 隅田 三 南部

60年度 スカウト数 28名　59年新入…熊谷.河北.奥田.南.今井.丹羽
三 松永　ヤギュウ 三 小野 三 宮谷　ワシ 三 田中 三 隅田　コイ 三 宮本 三 木野　シャチ 三 三条場 三 高橋

〔昭和59年度〕
夏camp … 鈴鹿　エピソード … 原田君が なんと マムシをびんづめにした
大雨で川が はんらん
本部サイトまで 命綱をつけてわたる

〔昭和60年度〕
春camp … 百井　"おなかがへったら態度で示そう" Let's GO! camp 夏へのステップ
夏camp … 信楽　エピソード … 山川ロ君 なた事件
本多SSLが来て ファイヤーがどしゃぶりで オジャン
↳本人は雨男でないと言いはっていた

➡ Dr.ヒール・フナオカのタイムマシン インドの国

59年度 カブキャンプ "ますのつかみどり"

Dr.ヒール フナオカが タイムマシンを 発明した。そこで ぼくらを タイム・トラベルに 招待してくれた。

さあ、出発だ！

昭和５９年５月～昭和６０年夏
（１９８４年）　（１９８５年）

ＳＳ　隊長　副長（59年度）　副長（60年度）
本多　河原　河原
（59, 60年度）山内　山内
榎本

59年度 スカウト数10名 目服部
アルファー 目西脇 日三田
ベーター 目西村 日園田
60年度 スカウト数11名
ジュピター 目袖岡 日松永
サザンクロス 目南 日高橋

めざそう!!

日本ベンチャー'84

第１回シニアースカウト大会の案内

■開催要項

- ●名　称　第１回シニアースカウト大会（日本ベンチャー'84）
- ●期　間　昭和59年７月27日㈮～８月３日㈮７泊８日
- ●テーマ　「未知への挑戦」
- ●会　場　(1)主会場 宮城県白石市南蔵王山麓
  (2)活動基地 宮城県および近県内（プログラム欄参照）

参加スカウト
西村
園田
南
高橋
柱
このベンチャー'84で高橋君は一生に二度とできないような体験をした

◎遠征『Hello 小豆島』8/10～13 小豆島において サバイバル体験 及 アンケート調査

S60年度　Look wide　輪読

4/1～2　Spring Camp in 百井　リンツー大会
「寒い、寒い」の連続　食器に氷がはる

8/17～21　遠征.『佐渡』

〈遠征の個人プロジェクト〉
・袖岡（食品の腐敗について…富士プロジェクト）
・松永（佐渡の芸能及写真集）・下坂（佐渡の名所について）
・石田（方言について）・高橋（金山の歴史について）
・山内（アンケート調査、生活のちがいについて）・柱（リンツーについて）
・南（佐渡の年中行事と祭りについて）

佐渡への遠征は昭和50年夏以来のことであった

4月27日
服部憲一君
富士章授与式

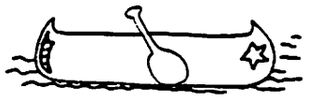
乗った観光バスのガイドさんが誰かさん？に似ていた。

ＲＳ　隊長　副長
（59, 60年度）大藪　鶴田
服部
中村（59年度のみ）

59年度　スカウト数17名　チーフ 吹田
60年度　スカウト数20名　チーフ 山川裕

《昭和59年度の特長》
① ローバリンズ ドウ サクセス 輪読が定着した。毎回の陸奥会が テーマとして とり組んでいる。
② シニアから 6名の強力な メンバーが加わった（[illegible]）
③ 山岡クンのように 右ひざ下血中にもかかわらず 可能な限り 出席してくれるスカウトが 増えた。（五十嵐クン・ホリクン）
④ 出席不可のスカウトも 手紙をよこしてくれる（大藪宏・山川勝（夏日記））
⑤ 25周年を ローバ隊の大行事として とり組んだ。大成功!
⑥ 故に ローバ隊が 主行事のプログラム・企画担当 色彩が 濃くなってきた。

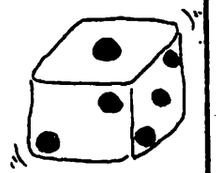
《昭和60年に向けて》
自分のカヌーは 自分で 漕げ!!



できごと

38
1984

サ ア ー　ゆかいに
ン ト　なごやかに
パ ア ー ト　たのしく
チ ョ ッ ト　しんどい　かも　・・・・



サンパチ 年忘れ スゴロク Walk Rally

◇日時　12月23日(日)　受付 8時30分 開始　13:30 解散

◇プログラム
9:00　開会セレモニー　プロ説明
9:30～12:00　ラリー
12:00～13:00　あたたかいものくって ホッとしよう
13:00～13:30　表彰と閉会セレモニー

ＣＳ　隊長　副長
平野　山川（弟）
千種

スカウト数18名
（しか）　船川．佐竹
今井．田宮
菊田．藤井．切島

若かに

7月号1986.7.6.発行
BS京都第38団カブスカウト隊

7月のテーマ　風雲！　アラモ砦

目標「成功」

不覚にも我々はアラモ砦を乗っ取られ宝物をうばわれてしまった。君たち騎兵隊はそれらを取りかえしに行かなくてはならない。その日を8月23日から8月26日と定めた。

その23日出発の日にすべてを攻略のための準備をしてもらう。攻略本が必要であるお母さん家の人達に協力をつくってほしい。合わせてがんばってできるはずである。

祈りま

騎兵隊夏キャンプ
完璧攻略本

期間：昭和61年8月23日～26日

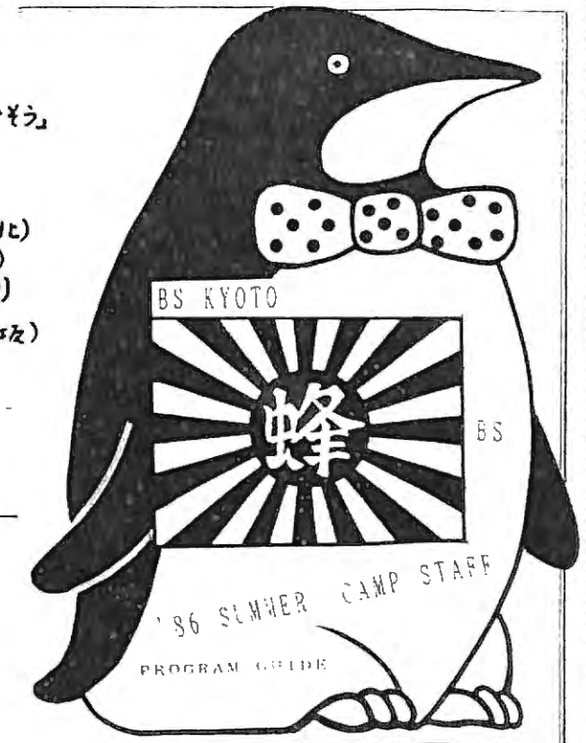
テーマ　風雲！アラモ砦

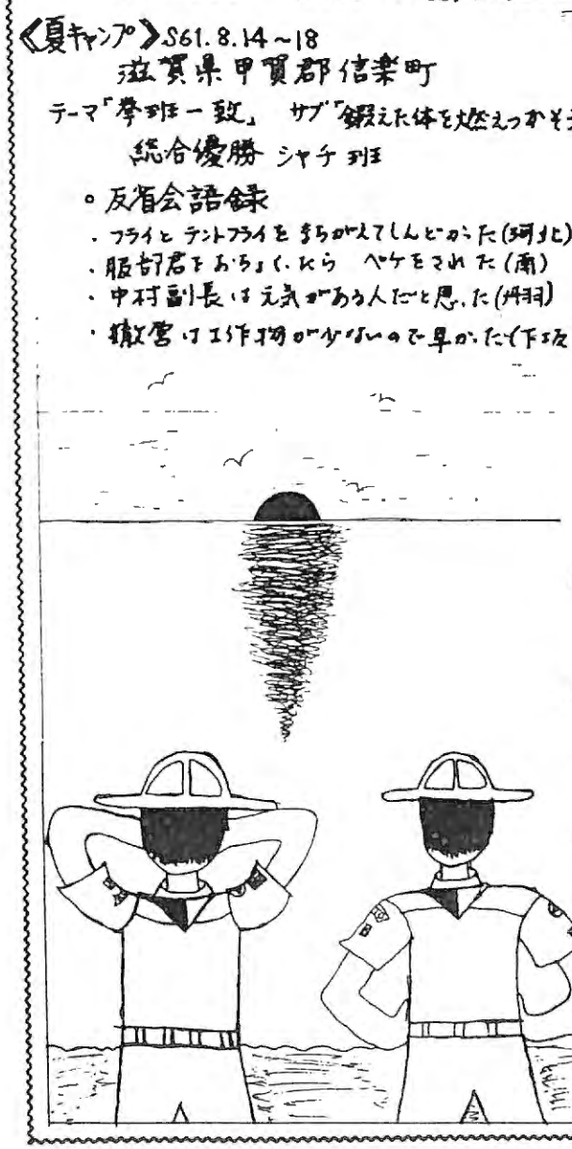
ＢＳ　隊長　副長
山川（兄）五十嵐
中村
福永

スカウト数27名
石田
ヤギュウ　田中　山下
ワシ　河北　入矢
コイ　山口　今井
シカ　高橋　西山

新入隊員…隅村．千種．西脇．河北．宮川．徳田．平野

《夏キャンプ》S61.8.14～18
滋賀県甲賀郡信楽町
テーマ「拳骨一致」　サブ「鍛えた体を燃えっかそう」
総合優勝　シャチ班





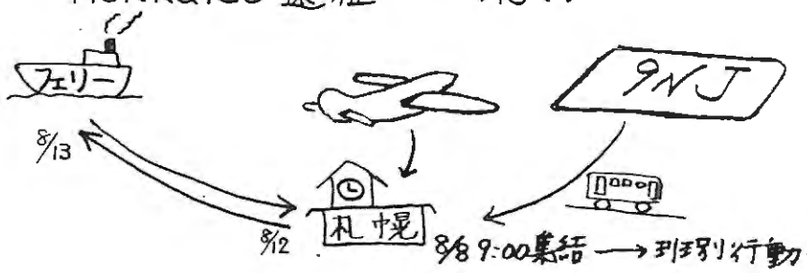
○反省会語録
・フライとテントフライをまちがえてしんどかった（河北）
・服部君をおちょくったら　ベケをされた（南）
・中村副長は元気がある人だと思った（川羽）
・撤営は工作物が少ないので早かった（下坂）

反省会語録つづき
・食べすぎで腹がいたかった（西脇）
・野外料理がひくり返って絶望だった（山口）
・ハンバーグが嫌いになった　もういらない（高橋）
・リーダーから工作物があって当り前といわれた
　他班はレベルが低くてかわいそう（本吾）
・田中くんに死相が出ていたかわいそう（熊谷）
・もっと公私のけじめをつけたい（園田副長補）

昭和６０年秋～昭和６１年夏
（１９８５年）　　（１９８６年）

ＳＳ　隊長　副長　　スカウト数 14名
本多　山内　　ロッキー 三松永、日石田
　　榎本　　アルプス 三高橋、日山内
　　山川(父)　　エルバス 三 柱 、日西脇

9NJの年（'86.7.31～8.8）　シニアスカウト おお忙しの夏でした
京都第5隊に奉仕（上班…山内，隊付…高橋，松永）
⇩つづいて
Hokkaido 遠征　～8/13マデ



R.S隊より
松本君
井上君
参加

8/8 9:00集結 → 班別行動 → 8/11 17:00集合

〈HOKKAIDO　遠征個人プロジェクト〉
・高橋（北海道の特産物を探る）・山内（北海道の歴史を探る）
・三条場（稚内の地理と歴史）・松永（屯田兵の歴史）・下坂（稚内の歴史）
・石田（富良野盆地について）・柱（網走刑務所について）
・西脇（釧路の地理）・田中（リンゴの体験）

8/24の日曜日には
大阪 G.S 55団との交歓会

富士章授与式
2/14　袖岡淳君

保津峡にて
飯ごう炊さん　♪♪♪
なかなか楽しかった　♪
スカウトよりリーダーが楽しんでいた

ブラックスピアー隊
（地区隊）
第4期 参加
松永 高橋 柱 山内君

ＲＳ　隊長　副長　　スカウト数 17名
大薮　服部(父)　　チーフ｛松本ミ（前半）／竹村（後半）
　　鶴田

今年を振り返ると
- 富士スカウトが3名もいる日本一のコーバ隊（松本道・服部・袖岡）しかも今度入隊した3名も全員「車」
- 前半を松本道チーフ　後半を竹村チーフ　よくとりまとめてくれた
- 山副（やまぞえ：通称やんまん）副長の登場
- 玄諦ジャンボリーで「スタンツ～絆～」「富士の点火」大成功！
- 山川勝・中西　両名追い出し野外パーティー（静原）
- 鶴田副長　ついに婚約♡♡

機関誌「槽」より

できごと

ＣＳ　隊長　副長　　スカウト数 19名
平野　中川，入矢　　（しか）▽伊藤．田宮
松本，井上　　▽塩野．八木
▽出口．鮒子田

こわがに

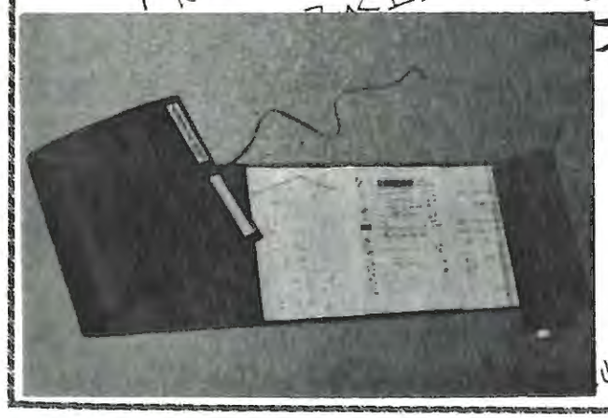
7月号1987.7.5.発行
BS京都第38団カブスカウト隊

自然流忍法帖

7月のテーマ

目標「輪」

君たちは野や山へ行って地面をよく観察したことがあるか
地面にはいつくばって土を掘りおこして観察
してみよう。今まで気づかなかった。木の葉や
小さな動物へ生きている すがたがわかるにち
がいない。木や水や石 など自然がなければ
人間は生きていくことができないのだ。君たち
はこれから忍術の修業をつんでいくわけだが
一つ一つ上で自然の温かさ厳しさ
忍者は決して魔法
らだを持ち，自然を
手な行動をしない。
土山の里の人たちは
自学から忍者のきま
のぞもうではないか。キャンプで
れることを望む



ＢＳ　隊長　副長　　スカウト数24名
福永　山川（弟），中村　　目小野　ワシ 目河北　目奥田
服部，園田　　コイ 目今井　目柴田
シャチ 目丹羽　目末吉
アキレス 目熊谷　目新保

新入隊員…今井，切島，藤井，菊田

＊＊
＊昭和６２年度ＢＳ隊の１年　昭61年11月1日～昭62年10月31日＊
＊　　＊
＊４班制最後の年＊
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

鯉班の名に終止符

鯉班
班長　今井喜明
次長　柴田信之
南、青山、
河北、宮川、藤井

野牛班
班長　熊谷輝彦
次長　新保伊一郎
石原、隅村、今井

鮫虎班
班長　丹羽雅義
次長　末吉敦周
徳岡、平野、菊田

鷲鷺班
班長　河北孝平
次長　下坂英世
板谷、
千種、西脇、切島

第３０回ボーイスカウト隊夏季野営大会
昭６２年８月９日～全１３日（４泊５日）
於：田村神社（滋賀県甲賀郡土山町）

本部スタッフ

隊長	福永幹也	副長	山川裕之
副長	服部憲一	副長補	園田一之
副長補	南　康成	隊付	三条場健浩
隊付	田中　茂	上班	小野晴彦

本部スタッフ平均年齢１８．８歳

《昭和６２年度ＢＳ隊参加行事等一覧》
昭61．11　第33回京都Ｃ第14回北山地区大会
昭62．1　第5回全国女子駅伝競走大会補助
昭62．8　第34回京都Ｃ第15回北山地区大会
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

《日本国内の動き》
昭61．11　日本国有鉄道改革関連８法律案成立
昭61．12　税制改革大綱（売上税）発表で大荒れ
昭62．4　新生ＪＲスタート
第11回全国統一地方議選・自民党売上税で大敗
大法案・売上税法案が牛歩戦術の後否決

昭和６１年秋〜昭和６２年夏
（１９８６年）　　（１９８７年）

ＳＳ

隊長　副長　　スカウト数10名

本多　服部(父)，榎本
山川(父)，遠藤

JRロッキー　三石田
JRスワロウズ　三山内
JRイルバス　三西脇

○玄諦ジャンボリー参加に際して
作った　小川先生に奉げる　カエ唄 … なかなか好評だった。
（幽霊先生のフシで）

1. 寺町通りを
チョイト行けば
線香ユラユラ
小川先生
お経をとなえりゃ
木魚なる　ポクポク
長体の本堂に　ヒカッテル

2. パソコン　あやつる
チョイト　ナウイ
ハイテク　坊主の
小川先生
スペイシィー　とばせば
風がなる　ピュー　ピュー
先生の背中に　後光さす

3. ハウスの小部屋を
チョイト　あけて
「君たち」とおいでましたる
小川先生
先生の　アドバイス
ヒカッテル　ピカピカ
サンパチスカウトの　羅針盤

4. 夜中の会議を
チョイト　のぞきゃ
タバコ　指で消す
小川先生
やさしい　笑顔に
味がある　ニコニコ
先生の言葉が　身にしみる

能登遠征（S57夏についで2回目）
S62. 8. 2 〜 6　　能登半島一周

遠征　個人プロジェクト

- 石田「恋路海岸について」
- 下坂「恋路、珠洲 禅剛崎、松波 鵜島の歴史、地理について」
- 小野「うるし工芸について」
- 山内「恋路の地名の由来について」
- 三条場「恋路物語を知る」
- 入矢「輪島塗」
- 西脇「恋路について」
- 田中「曽々木の手作塩について」
- 西山「輪島・住吉神社」

サンパチ4人目の富士スカウト誕生
山内徹也君
S62 11/6 授与式

総会資料
〈回想〉より
進級も一部の者に限られ、活動全般にわたり沈滞がみられた隊としても今大事な転換期となっている……

ＲＳ

隊長　副長　　スカウト数18名　チーフ 西村文

大薮　鶴田
山内
山副

ROVER INFORMATION.
PRESENTER/BOYSCOUT OF KYOTO 38 ROVER

プロジェクトチーム分科会報告 ——・——
・Aチーム　リーダー …… 西村
サブリーダー …… 桂
目的：今日までのサンパチの歌集、ゲーム集
成果：歌集、ゲーム集の作成
期間：4月〜12月
サンパチの歌の作詩、作曲をしてはどうか

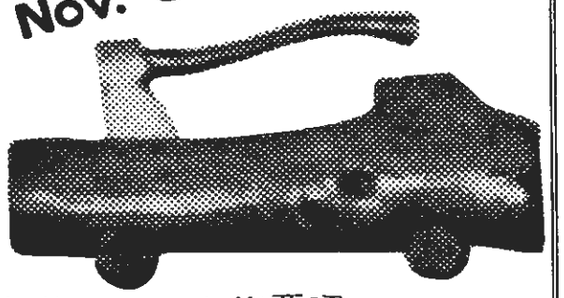
Bチーム　リーダー …… 松永
サブリーダー …… 高橋
目的：他団を見ることにより自団にはなかった問題に気付かせたり現在の自団のもっている問題の解決を見い出す参考になる交流を目的とし、単なる情報交換や遊ぶ場にしない
成果：交歓会の成功
要望：交渉をもてる人の紹介をしてほしい
スケジュール：37団の井上さんと連絡をとってから決定する

♡ この夏！いちばんお熱いと・こ・ろ ♡
♡♡♡♡鶴田夫妻の愛の巣♡♡♡♡♡♡♡♡♡西村夫妻の愛の巣♡♡♡♡

＊カナダへ行った松本(龍)君から連絡が全然ありましぇん。
果たして彼はどうしているのやら？

できごと

THE WOLVES REUNION
玄諦ジャンボリー Nov. '86
昭和61年11月2日
場所「友愛の丘」



〈主旨〉
小川玄諦先生を知る者が集い、先生の75歳を祝い、お互いの健康を祝福する大集会

GENTAI JAMBOREE
ご案内より

洛北道中道しるべ実施要項

ボーイスカウト京都第38団

1. テーマ	「洛北道中道しるべ」
2. 目的	身近な北山ハイキングコースに道標及び美化活動の標語立札を設置し、手軽なハイキングコースに設定すると共に、北山の美化意識の高揚に努める。
3. 日程	昭和62年4月26日（日）
4. 実施方面	静原キャンプ場一帯
5. 活動内容	静原キャンプ場につながる3つのハイキングコースの要所要所にコース案内の道標を設置すると共に、特にゴミの放置の著しい場所に美化活動の標語立札を設置する。

ＣＳ　隊長　副長
入矢　井上
西脇(兄)

スカウト数19名
(しか) ▽倉田.武部
▽山本.松野.北村
▽入矢.恩地

洞窟の謎

— かくされた宝を追え —
8月23日(火)〜8月26日(金)　3泊4日
京都府相楽郡笠置町笠置山 笠置山寺

組　名前
京都第[illegible]団 カブスカウト隊

日記
8月26日(金) (天気)　(健康)

今日はかさぎ山とおわかれ。
ぼくはうれしかった。
なぜかと言う
かにがまれてし。
あぶしいるし。
とてもたいへん。
でももう一とこいって
みたいきがする。
とてもたのしいキャン
プでした。

キャンプのかんそう　反省会に提出

ぼくはこのキャンプはとても
楽しかったと思います。
ミスターXがきになったけど
とてもいいプレゼントをもらい
ました。それでミスターXの
ことが気になります。おわり

ＢＳ　隊長　副長
山川(弟)　福永

スカウト数18名
目 西山
ワシ 目下坂 目千種
ヤマビコ 目末吉 目青山.新保
シャチ 目板谷 目紫田

新入隊員…八木.伊藤.鮒子田.出口

S.63.3.26〜27『父兄公認夜ふかし大会』
〜OVER NIGHT HIKING〜　at 北山荘

▷ 上到王 & スカウト. バス乗り遅れて大遅刻! 先発スタッフ あたふた。
▷ 深夜のちかいの式。厳寒に耐えた新入4名 → 出口.伊藤.八木.鮒子田
▷ 大好評! グリンバー主催の「夜ふかしゲーム大会」

S.63.7.16〜17『15th 京都キャンポリー 16th 北山地区大会』

於：安曇川青少年野外活動センター　。しのび寄りウォークラリー　。ビバーク etc.

秘話 会場から駅への帰路. 電車の時間に間に合わないために車でピストン輸送。その際. グリンバーたちは年少スカウトを車に乗せ. 「俺たちは走る!!」と駅までの道のりを走破! 結局. 間に合わなかったが. 一緒に走った副長補 T君の目には感激の涙! うるうる
本当によくガンバッタゼ!

S.63.8.7〜12
『あぶない冒険野郎!』
〜夏季キャンプ AT 久美浜〜
▷史上初! まる1日 Free Time
▷大好評! アドベンチャー・バッヂ
▷総合優秀班「シャチ班」

昭和６２年秋～昭和６３年夏
（１９８７年）　　（１９８８年）

ＳＳ　隊長　副長　　スカウト数 9名
本多　服部(父)　　ロッキーⅢ 三 小野　日 西山
遠藤　　アルプスⅢ 三 三条場　日 田中

S62.12.20
団レセプション　　モギ店　ロッキーⅢ フランクフルト
アルプスⅢ イカの丸焼き　大好評
三条場サンの御協力で最高の味付け

S62.8 遠征．神戸～別府～日南～
鹿児島～長崎～博多

1988
7. 29
現地時間
12:30
Continental Divide
（大分水嶺）に立つ京都の隊員
左から
本多　下未河柴板
SSL.　坂吉北田谷

1988.7.20
～8.4.

ロサンゼルス
サンディエゴ
ティファナ
グランドキャニオン
ラスベガス
デンバー
コロラドスプリングス
ロッキーマウンテン
サンフランシスコ

IN. U.S.A

〈アメリカ派遣に参加して〉

今年度 五年前と同じく 横浜37団のおさそいで アメリカ合衆国に リーダー1名 シニア1名 ボーイ4名 計6名が参加した。
ロス～サンディエゴ～グランドキャニオン～デンバ～ロッキー山脈～シスコという コースで2週間という長旅であった。自然的にも風土的にも 多種多様であり 大変貴重な経験をさせてもらった。
サンディエゴの南国調の美しい町 ホームステイ先でのあたたかい歓迎、フェニックスまでの酷暑の中のバスのアクシデント、グランドキャニオンの雄大の景色 ラスベガスの異様な雰囲気、One Mile City デンバーの清潔感あふれる町並、ロッキー山脈4000mでのにぎり飯 大都会シスコ いずれをとっても 充分味わいきれない程の現実であり経験だった。しかし何といってもこの200年余でこの国を築き上げてきた アメリカのPOWERを強烈に痛感した。子供たちにとっても 少年の時代にこういった経験ができたのは何ごとにもかえがたいと思う "仏かをつかんで" 帰国したことだろうからこの "つかんで" きたものをバネにこれからの青年の時代を歩んでもらいたい。　（本多）

ＲＳ　隊長　副長　　スカウト数 19名
鶴田　西村(兄)　　チーフ　園田
山川(兄)

◎RS隊発隊20周年

名言!

S63.
3月末．服部くん アメリカから帰国。「日本を知るには．日本を離れると良い。」
5月末．山川常七氏 講演。テーマ「就職」 講演後は どんちゃん騒ぎ!
8月．　松本(龍)くん カナダから帰国。帰国後もあのヘルメットは健在です。
8月末．夏季合宿 実施。～鳥羽の園田チーフ別荘にて～

エピソード
・Sくん．寝ぼう遅刻 & カギ忘れ事件。→ 全員．目が点に……
・Hくん．サザエ高かった事件。→ しかし．アメリカじこみの夕食の寿司に．皆．感激!
・帰り道 わからず迷ってしまったのよ．あ～こりゃこりゃ事件。→ あやうく 逆もどり。

▶ この夏から．30周年記念行事へ向けて Projectをスタート!

BAMBOO・BADGE 訓練要項

これは野外活動のリーダー自己訓練のうちの雑学一般部門です。知らなくても別に困ることはないのですが、身に付けるととっても楽しいものを集めて訓練します。自発活動の訓練です。まず、やってみることから始めましょう。
評価は自分自信でします。自己の身に付いたと判断したならば、1項目につき1つの竹ビーズを自分で製作して、ナイフか何かの根付け（キーフォルダー的感覚のもの）等につけることによって、そのレベルの証とします。

野外活動研究家　末吉央伯び。

① かぐや姫の心は・・・・。 62.7/26
（竹細工）
② 究極の菊花結びが美しい。 63.1/24
（花結び）
③ 白地に赤く日の丸染めて。 〃
（国旗製作）
④ 与作は木を切る工夫次第。 63.5/22
（丸木細工）
⑤ 遊びに行きたし鍋は無し。 〃
（原始料理）
⑥ 世渡り上手は綱渡り。 〃
（綱渡り）
⑦ 天幕・朝立ち一人旅。 IN CAMP
（テント張り）
⑧ 長いは可能の厠が楽。 〃
（便所掘り）
⑨ さわらぬ焚火に効果あり。 〃
（焚火薪組み）
⑩ 急がばはまれ川中行脚。 63.10/22.23
（1泊ハイク）

昭和６３年秋～平成元年夏
（１９８８年）　　（１９８９年）

ＣＳ　隊長　副長　　スカウト数 16名　（しか）
西脇　八木　　▽江本　木村
（兄）　西村（弟）　　▽角井　山田
▽西村

高原物語

てびきしょ

メインテーマ
SCOUTS BE AMBITIOUS
（スカウトよ！大志をいだけ）
サブテーマ
見つめよう！サンパチ今昔未来人

期間　'89　8月7日(月)～13日(日)
場所　新潟県中頸城郡妙高高原池の平
「東本願寺池の平青少年センター」
連絡先　同上　TEL 0255-(86)-2801
塩谷さん

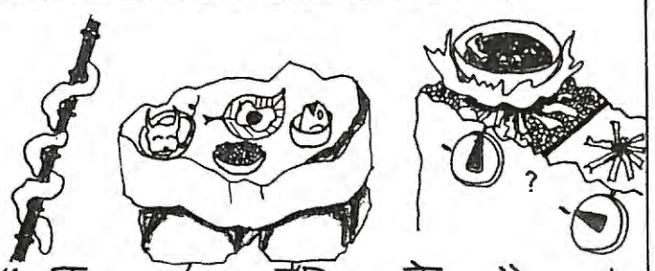
ＢＳ　隊長　副長　　スカウト数 15名　　ワシ　目千種
服部　高橋　　目今井　　アギュウ　目徳岡
シャチ　目河北

新入隊員
山本、西野、松野、恩地、北村、入矢

キャンプ　予定表　カブ、ボーイ、シニア、ローバー etc

Camp Schedule of All Scouts

9:00　《原始時代の美味しんぼ》



14:30（終了）

15:30　《原人都市》

18:00（終了）

17:00　《炎

21:00（終了）

昭和６３年秋～平成元年夏
（１９８８年）　　（１９８９年）

ＳＳ　隊長　副長　　スカウト数　10名　　アンデス　日　西山
遠藤　本多　　アルプス　日　入矢

Dear Scouts of troop 38,

Congratulations for the thirtyth anniversary

I'm Dr. Plane who runs "Pond laboratory" in a small town in England where Boy scout occured.

Thirty years ago, I found these sentence in a old writing.

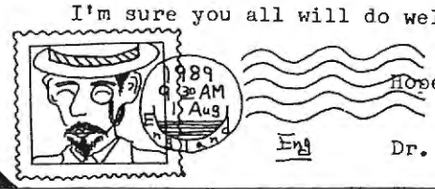
"Anyone who owns 'the Spirit of Na almighty power."

After that, I devoted my "the spirit of Nauman" reserch, it is abvio in primeval ages.

So, I want in primeval ag I can offer a can contain get the ene find it if

If yo mysteries but you can get through with them.

I'm sure you all will do well.



Hope yours Success,

Dr. pond in the U.K.

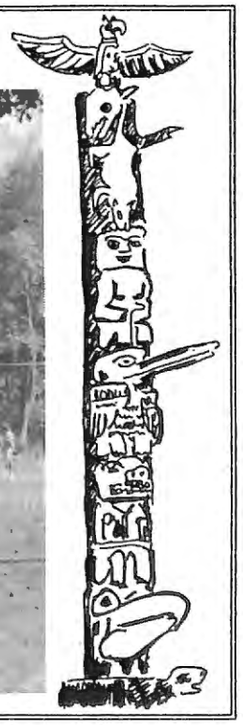
Kamigyoku, Kyoto, Japan

ＲＳ　隊長　副長　　スカウト数 19名　チーフ
鶴田　西村（兄）
山川（兄）

1年間のエピソード

S.63 11月. 新入歓迎会に新入が全員欠席！という大ハプニング!!
この日のMENUは.隊長の十八番だったため. 隊長 曰く.『なめとんな！』
『30周年記念行事 PROJECT』に明け暮れ……
園田行事部長を始め. RS隊員一同. 四苦八苦。時には険悪なムードも……
H.1 7/23 式典 8/7～13 団キャンプ → 無事に終えられた。ホッ！とひと息。
▶松本（龍）くん 30周年記念行事を目前に. 渡米。またまた留学。好きやなぁ～
▶園田くん 30周年記念行事終了後. 渡米。留学 それとも…?!

できごと



京都第３８団創団３０周年記念大会記念式典

さんぽち 30th

１９８９年7月２３日（日）

１０：３０　受　付

１１：００　記念式典

ボーイスカウト京都第３８団

記念式典プログラム

○開会の言葉

○国旗・仏旗掲揚……ＢＳ，ＳＳ

「連盟歌」　斉　唱

○焼　香

「三帰依」・「み仏は」

○さだめ・おきての唱和……ＣＳ，ＢＳ

○挨　拶……育成会長

○『３０年の歩み』……団経過報告

○挨　拶……来　賓

○祝電披露

「歓喜に寄する頌」　斉　唱

○花束贈呈……スカウトより父兄代表へ

○謝　辞……団委員長

○挨　拶……団顧問

「この道を行く」　斉　唱

○菊スカウト披露

○国旗・仏旗に敬礼

○礼　拝

「そなえよつねに」　斉　唱

○弥　栄

○閉会の言葉

『３０年の歩み』

昭和３４年	６月２１日　京都第３０団年少隊として発団　第２回日本ジャンボリー見学（饗庭野）
昭和３５年	１月１４日　京都ボーイスカウト第３８団として発団
昭和３６年	第５回大谷スカウト名誉奉仕訓練参加
昭和３７年	第１回アジアジャンボリー兼第３回日本ジャンボリー参加（御殿場）
昭和３８年	ＳＳ隊発隊　４周年記念誌として”激流　”発行
昭和３９年	第１３回京都キャンポリー北斗地区大会
昭和４０年	第１４回京都キャンポリー参加
昭和４１年	第４回日本ジャンボリー参加（日本原）
昭和４２年	８周年記念誌”激流　”発行
昭和４３年	ＲＳ隊発隊
昭和４４年	１０周年記念行事　長休寺　室町小
昭和４５年	第５回日本ジャンボリー参加（朝霧高原）
昭和４６年	第１３回世界ジャンボリー参加（朝霧高原）
昭和４７年	ハウス長休　贈答記念
昭和４８年	第２０回京都キャンポリー　第２回北山地区大会参加
昭和４９年	１５周年記念行事　百井　第６回日本ジャンボリー　（千歳原）
昭和５０年	第２２回京都キャンポリー　第４回北山地区大会参加
昭和５１年	第２３回京都キャンポリー　第５回北山地区大会参加
昭和５２年	ＳＳ隊１５周年　ＲＳ隊１０周年
昭和５３年	第７回日本ジャンボリー参加（御殿場）
昭和５４年	５、５～６　２０周年記念行事　城陽野外活動センター　２０年史発行
昭和５５年	大谷スカウト全国大会参加
昭和５６年	第２８回京都キャンポリー参加（滋賀県饗庭野）
昭和５７年	ハウス長休設立１０周年記念　ＳＳ隊２０周年記念ＯＬ大会
	第８回日本ジャンボリー参加（南蔵王）
昭和５８年	ＳＳ隊２０周年
昭和５９年	サンパチ富士スカウト第一号誕生　２５周年記念行事　京北町
昭和６０年	大谷スカウト全国大会参加
昭和６１年	第９回日本ジャンボリー参加（南蔵王）　げんたいジャンボリー
昭和６２年	４月２６日　洛北道中道しるべ　　北山キャンポリー
昭和６３年	ＲＳ隊２０周年
平成元年	７月２３日　３０周年記念式典挙行

団組織図

平成1年7月23日現在

顧　問　小川　玄諦
顧　問　中川　恵造
育成会長　西村　泰一

カブ隊

1	2	3
江本　勝	角井　憲季	西村　直久
木村　誠	山田　泰央	八木　創平
く 山田　哲央	く 江本　務	く 山本　平
末吉　祐太	阿原　求尚	西野　恵太
み 吉田　普厚	み 中川　智之	み 西口　曜平
	月里　達也	
ＤＭ　末吉千鶴子	ＤＭ　阿原　曜子	ＤＭ　山本　節子

［リーダー会議］
副長補　西脇　孝典
副長補　服部　良子
隊長　西脇　一博
副長　八木　生次
副長　西村　文孝

シェルパ隊

〔アンデス班〕
西山　太佳夫
今井　喜明
下坂　英世
柴田　信之

〔アルプス班〕
入矢　一郎
河北　孝平
丹羽　雅義
末吉　敦周
板谷　有起

隊長　遠藤　亘
副長　本多　直樹
副長　松本龍太郎

CS SS 団会議　BS　RS

団委員長
下坂　紀一

副団委員長
服部　圭佐
副団委員長
末吉　央伯

団委員会

財政：河北　智恵子，山田　典子
組拡：入矢　徹雄，松野　真由美
進歩：服部　弘子，五十嵐　達志
松永　秀子
指養：西脇　香代子，末吉　央伯
野行：角井　輝信，江本　律子
平野　和人，千種　勝正
鮒子田　喜代，北村　和己
入矢　徹雄，西脇　香代子
健安：徳岡　宏武，今井　信也
団会計：丹羽　武
会計監査：園田　隆三，西山豊太郎

団育成会

ボーイ隊　［リーダー会議］

隊長　服部　憲一
副長補　下坂　直司
上班　今井　喜明
副長　高橋　宏樹，桂　一
隊付　河北　孝平，丹羽　雅義

鷲班	野牛班	鯱班
千種　健太	徳岡　龍彦	河北　淳太
切島　圭一	西脇　淳人	伊藤　良崇
出口　告平	今井　清次	北村　和幸
山本　亮太	鮒子田龍太	入矢　次郎
西野　誠人	松野真太郎	
	恩地　輝	

ローバー隊

隊長　鶴田　茂一
副長　西村　浩行
副長　山川　勝也

山岡　隆久	松本龍太郎
小林　泰之	三田　泰弘
西村　文孝	園田　一之
服部　憲一	袖岡　淳
南　康成	松永　誠史
高橋　宏樹	桂　一
山内　徹也	石田　昌徳
西脇　孝典	下坂　直司
小野　晴彦	三条場健浩
田中　茂	

指導者人材センター

末吉　央伯	中川　正博	大薮　俊一	中村三之助	
榎本　信也	五十嵐達志	平野　和人	山岡　隆久	
大薮　完爾	山川　常七	福永　幹也	井上　孝	

≪歴代富士スカウトからのメッセージ≫

☆松本　道典(日連471号,京連17号)

サンパチの発足30周年おめでとうございます。

私がボーイスカウト隊に入隊して以来、十数年が過ぎ、当時のことがなつかしく思い出されます。スカウト諸君も日夜、自己研鑽に努め、活躍されていることとおもいます。

「進級について一言」

進級に対しては、まずは“進級するぞ”という気持ちを持つこと。できることから始め、あとは活動を通じて得た経験と知識をいかしていくこと。

「日々の善行」と「そなえよつねに」でスカウト活動を有意義なものとすること。

これらのことがあげられると思います。まずは、気持ちからです。がんばって下さい。

38団のますますの発展とスカウト諸君の活躍を希望して・・・・弥栄

☆服部　憲一(日連563号,京連18号)

良き先輩に恵まれ38団ではいろいろのことを教えてもらった。ｽｶｳﾄ活動のことのほか、いろいろの人生経験についても。学校などと違うところは、自分より四つも五つも年下、年上でも、ただ先輩・後輩というよりも友達に近いような関係ができること、それが、38団の魅力の一つである。僕が富士をとれたのも、ﾘｰﾀﾞｰとして何とかやって来れたのも、こういった「友達」の励ましや協力があったからで、一人だけでは今日までスカウト活動を続けてこれたかどうかも疑問である。この38団の雰囲気が今後もずっと続くことを祈ります。

☆袖岡　淳(日連608号,京連20号)

この平成の新しき時代に38団が30周年を向かえることを本当にうれしく思います。ﾎﾞｰｲ隊に入隊してから今日まで、数々のｷｬﾝﾌﾟやﾊｲｷﾝｸﾞを通して私を育ててくれた38団に感謝すると共に、ｽｶｳﾄ活動を続けて本当によかったと思っています。とくによかったと思うことは、やはり富士スカウトに進級したことです。私は富士章を取得する課程で「やればできる」と言うことを学びました。

ﾎﾞｰｲ隊に入隊した直後に進歩手帳という一冊の手帳をわたされ、それを初めて見た時「こんなことできるはずがない」とずっと思っていました。しかし、考えてみるとできないことが手帳に書いてあるはずがないのです。やれば必ずできるのです。幸いにも、38団にはすばらしいﾘｰﾀﾞｰの方々が大勢いらっしゃいます。困った時はいつでも相談して教えてもらえばいいのです。

さあ、みんな一つでも上の級をめざしてがんばってください。進級する課程で得たものは将来必ずプラスになるのです。一人でも多くの菊、隼、富士スカウトが誕生することを願っています。

最後になりましたが、今後38団がますます発展することを心よりお祈り申し上げます。

☆山内　徹也(日連805号,京連27号)

私が富士スカウトになろうと決心したのは、単に進級上において最上にあるという意味で取得しようと思ったのです。次に計画を立てました。この計画が取得にあたって最も大切だと思います。例えば、野営管理章には、ｷｬﾝﾌﾟ中に点検などをする科目があります。たいていは、上班や隊付の時にやるのですが、私は9NJの時にやりました。富士章には、単にレポート提出だけでなく、講習会やｷｬﾝﾌﾟ、日赤救急法その他に参加しなければ取れないところが数多くあるので、富士章の項目をしっかり読みながら計画を立てて下さい。分からない点などがあれば、ﾘｰﾀﾞｰの人や先輩に相談するのがベストです全面的に協力していただけるはずです。

次に技能章ですが、これはとにかく自分の興味のあるものから取っていくのが無難です。自分の好きな分野であれば、率先して調べるであろうし、本人の向上にもつながるわけですから・・・。

とにかく富士になるためには、本人の意志が大切です。私自身もﾘｰﾀｰの方々や先輩や両親にお世話になりましたが、結局は自分自身のヤル気が取得に結び付いたと思います。皆さんも取得する際は、ヤル気をもって取得して下さい。そして、技術面だけでなく、精神面においても立派な富士スカウトとなつて下さい。

≪編集後記≫

三指。

▼まず最初に、この30周年記念誌の発刊が諸般の事情により予定より、約１年も遅れたことを、お詫び申し上げます。

▼この30周年記念誌は、過去 4，8，10，15，20，25 年の各周年行事の際、発刊された記念誌“激流”VOL1(4年)VOL2(8年)VOL3(10年)“あしあと”(15年)“さんぱち20周年”“激流”VOL4(25年)の集大成として復刻、再編集、加筆したものです。

▼編集に際して感じたのは、やはり30年と一言でいっても長いものだな、ということです。いろいろな思いが走馬燈のように流れていきます。いろいろな事があった。今となればなつかしいものばかりです。「あんなこともあったなー」「こんなこともあったなー」と思われる方々も多いことでしょう。

▼この30年の間に我がサンパチも京都を代表する団に成長し、富士スカウトも４名誕生しました。現在も若いリーダー諸君の活躍でいろいろな活動が積極的行われています。先日の30周年行事を新潟県妙高高原で盛大に行い成功のうちに終えることができました。これも各リーダー、育成会諸氏の多大な御協力のたまものと感謝いたします。

▼楽しい思い出が多い中で悲しいこともありました。昭和51年２月３日の水野孝氏、そして、つい先般、平成２年６月14日の服部圭佐氏の死去。年若くしての他界は本当に心残りでなりません。ご冥福をお祈りいたします。

▼何はともあれ、時間は刻々と過ぎ去っていきます。今後のボーイスカウト活動について子供の減少、社会の多様化など、いろいろ危惧されることもありますが、「スカウティングは不滅だ」という信念をもって、関係諸氏には今後さらに、御支援を賜わりますようお願いいたします。

▼サンパチの歴史は個々のスカウティングによって、これからも有意義に積み重ねられていくことを願うものです。

弥栄。

ボーイスカウト京都第３８団　30年史

発　行　　平成２年　７月　１日

発行者　　日本ボーイスカウト京都第38団

団本部

編集者　　本　多　　直　樹

印刷所　　ＰＥＯＰＲＩＮＴ

'89 III 38th

TEAM THIRTYEIGHT

IN MYOKO